令和４年における神奈川県の自殺者の状況

（警察庁の自殺統計を基に作成）

１　自殺者数・自殺死亡率の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２　令和４年自殺者の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

（１）　男女別の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（２）　年齢階級別の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（３）　職業別の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（４）　原因・動機別の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
（５）　自殺未遂歴の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

３　詳細データ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

（１）　月別の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
（２）　男女別・年齢階級別・月別自殺者数の状況　・・・・・・・・・・・16
（３）　曜日別の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
（４）　年齢階級別自殺死亡率の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・19
（５）　男女別・年齢階級別・自殺の手段別の状況　・・・・・・・・・・・20
（６）　男女別・年齢階級別・自殺の場所別の状況　・・・・・・・・・・・21
（７）　職業別・年齢階級別の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
（８）　年齢階級別、原因・動機別の状況　・・・・・・・・・・・・・・・24
（９）　職業別、原因・動機別の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・26
（10）　原因・動機別内訳　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
（11）　年齢階級別、自殺未遂歴の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・29
（12）　同居人の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

1　自殺者数・自殺死亡率の推移

本県の自殺者数は、平成 19 年から 23 年にかけて 1,800 人台で推移していたが、平成 24 年以降は減少傾向となった。令和元年は 1,076 人と平成 10 年以降で最少となったが、令和２年は 1,269 人と増加に転じ、令和３年は若干減少したものの、令和４年は 115 人増加し 1,337 人となった。

自殺死亡率は、平成 24 年以降減少傾向となり、令和元年は 11.7 と平成９年以降で最少となったが、令和２年は 2.0 ポイント増加し、13.7 となった。令和３年は減少したが、令和４年は増加し、14.5 となった。

図１－１

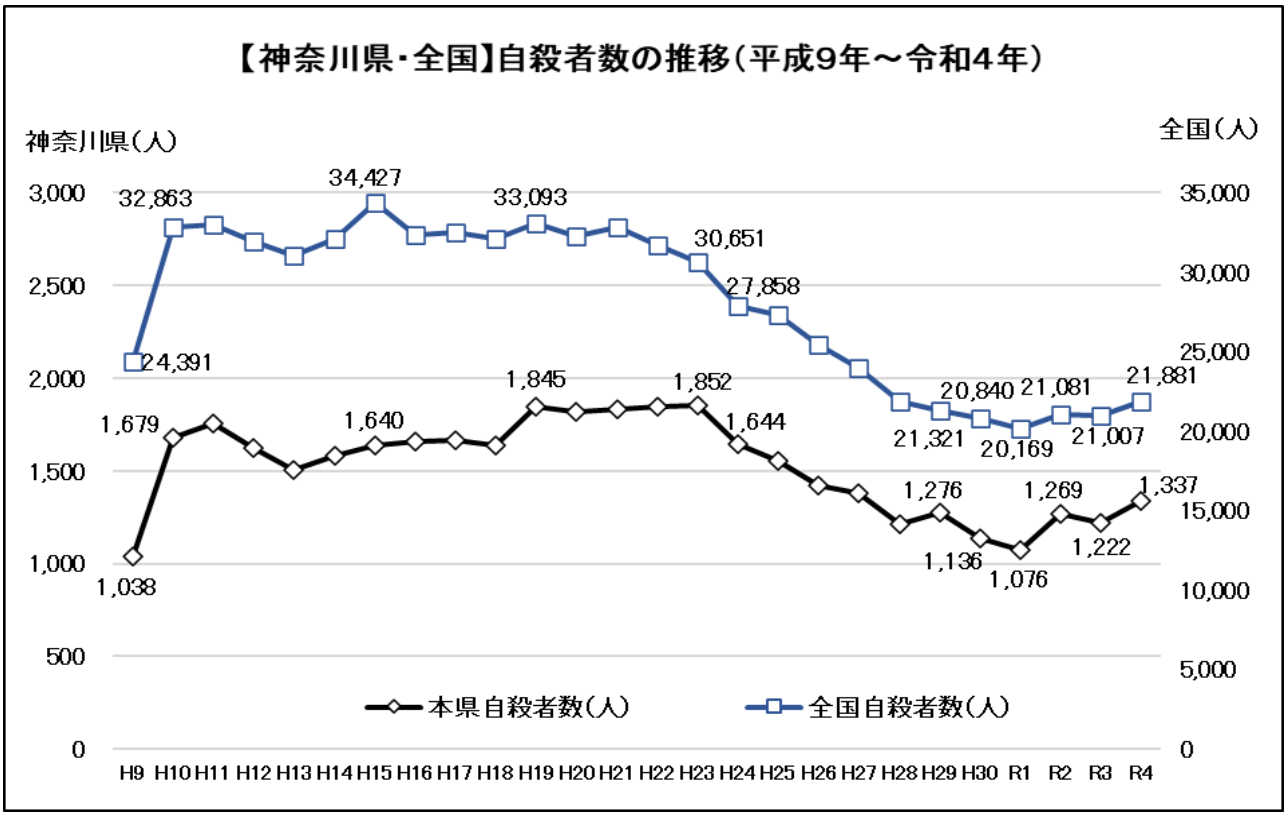
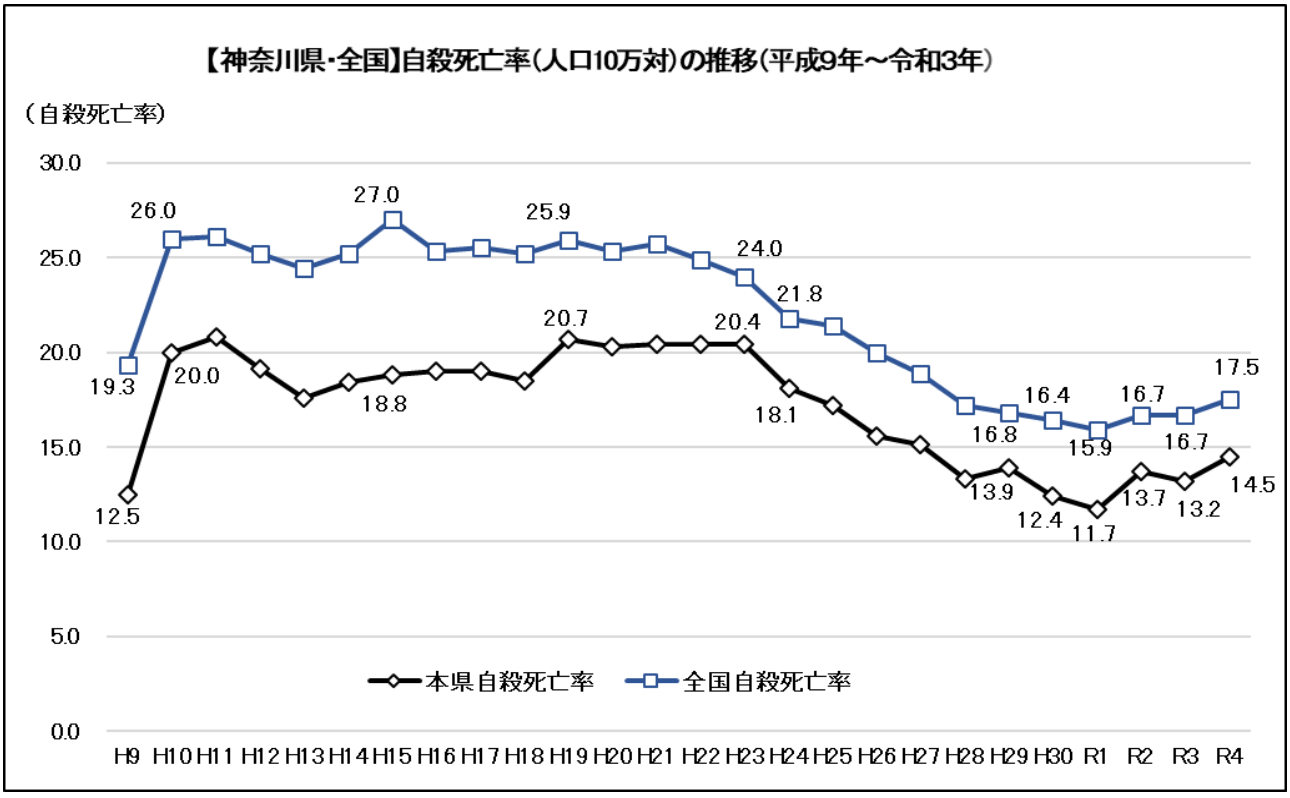


図１－２



2　令和4年自殺者の状況

（1）男女別の状況

本県の令和４年における男女別自殺者数は、男性は前年より 96 人増の 887 人、女性は前年より 19 人増の 450 人となっている。男女別自殺者の割合は、ほぼ男性が７割、女性が３割で推移しているが、令和２年は、男性が 63.9%、女性が 36.1%で、女性の割合が増加した。令和３年、令和４年とも男性の割合が増加したが、神奈川、全国ともに女性の自殺者数は高止まりしている。

図2－1

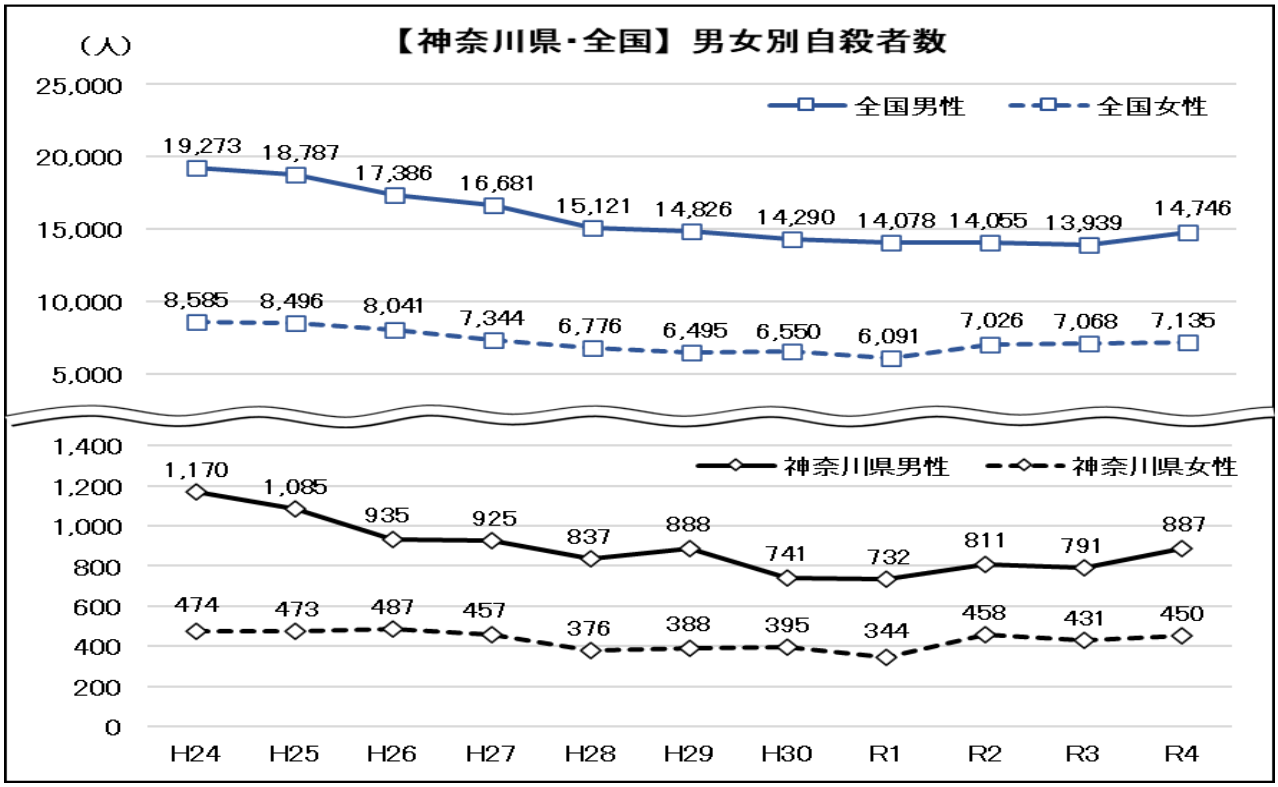
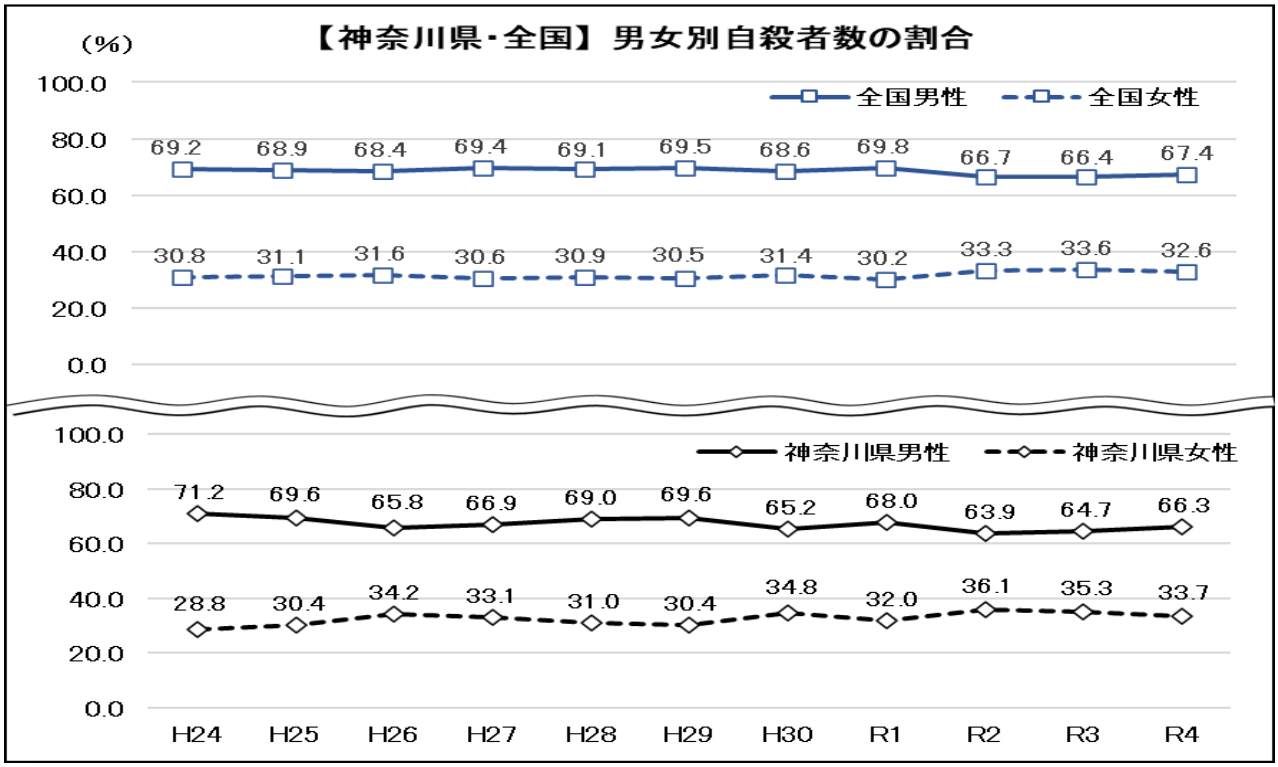


図2－2



（2） 年齢階級別の状況

本県の令和４年における年齢階級別の自殺者割合は、50 歳代が最も多く、次いで 40 歳代、20 歳代の順となっている。

なお、全国と比較して、本県は 20 歳代、40 歳代、50 歳代の割合が多い。自殺者数の前年比較でもこの年代が増加、30 歳代、70 歳代は減少した。男女別でみると、20 歳代は男女ともに増加、20 歳未満と 40 歳代から 60 歳代までの男性の自殺者数が増加していた。20 歳未満については、過去 10 年間で一番多くなっている。

図2－3

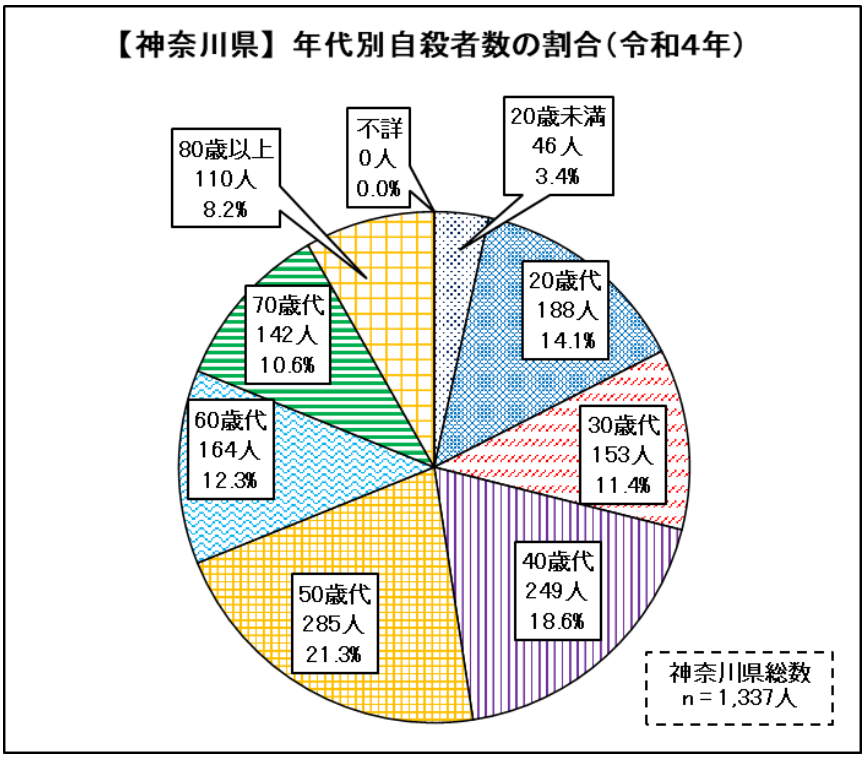


図2－4

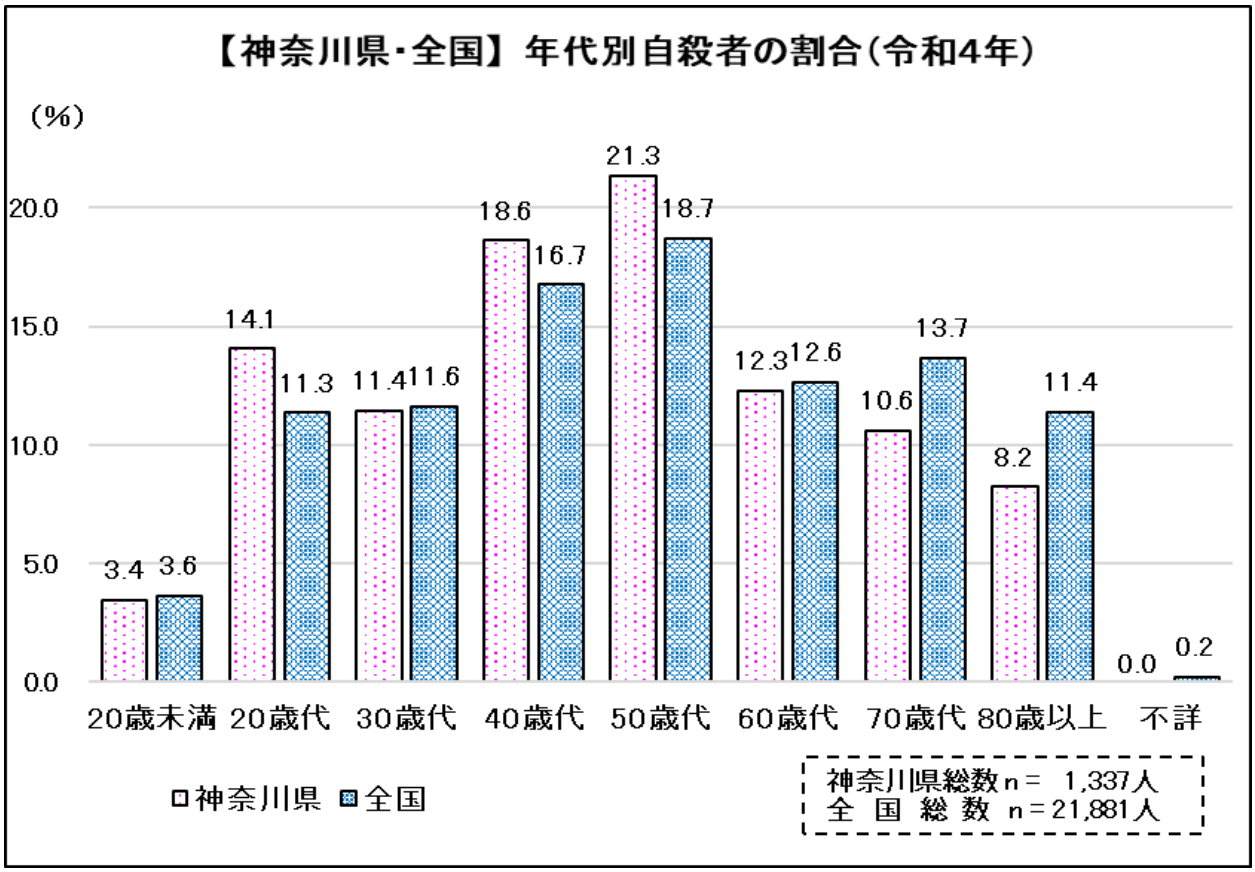


図2—5

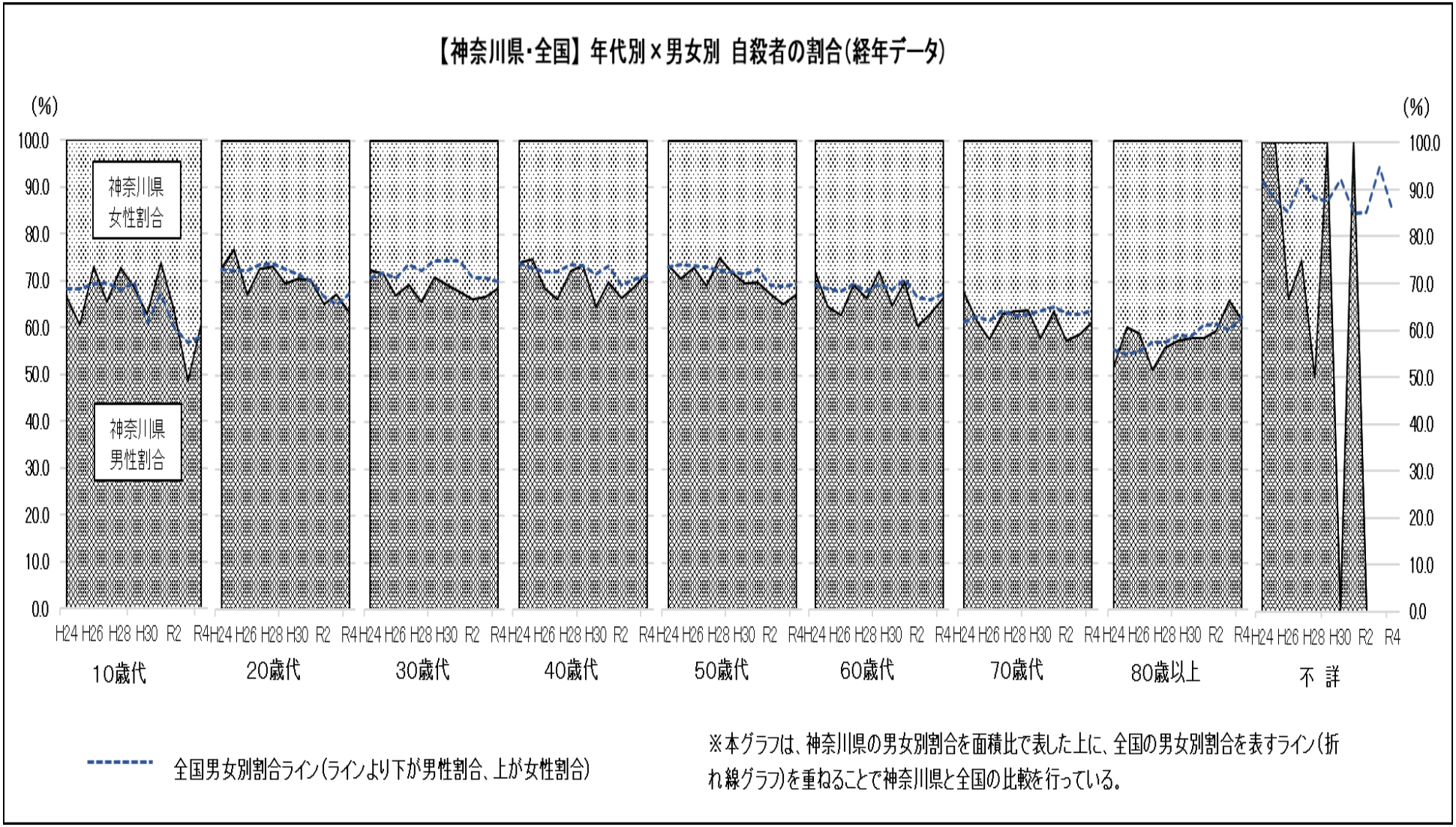
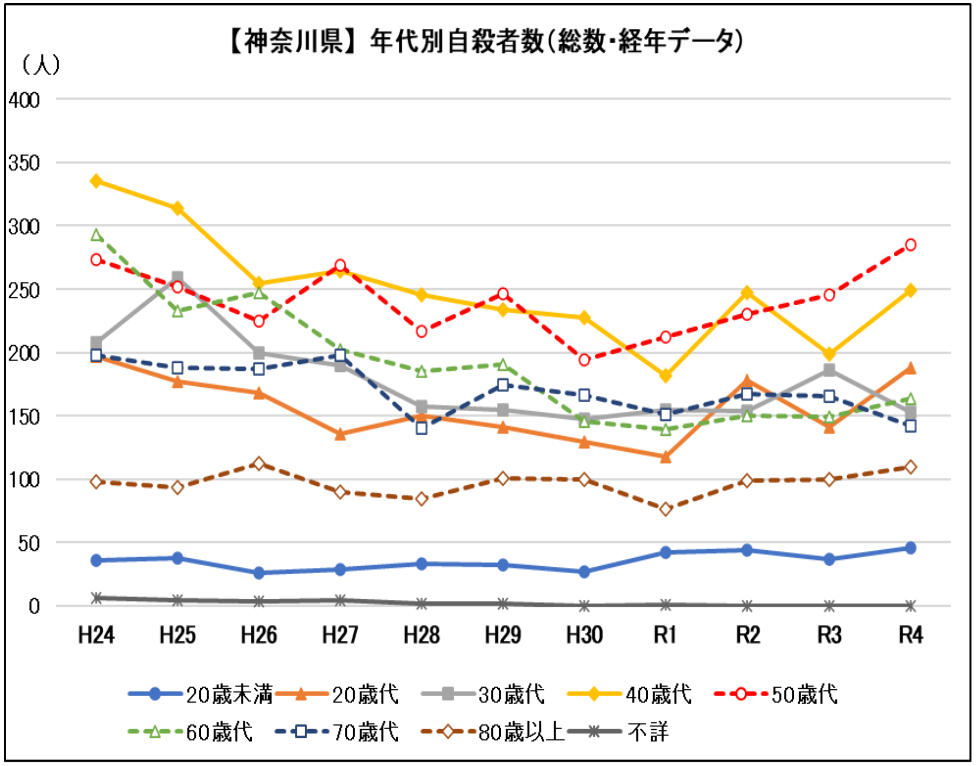

【神奈川県・全国】年代別×男女別 自殺者の割合(経年データ)
(%)
(%)
100.0
90.0
80.0
70.0
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0
神奈川県
女性割合
神奈川県
男性割合
H24 H26 H28 H30 R2 R4
10歳代
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳代
80歳以上
不 詳
全国男女別割合ライン(ラインより下が男性割合、上が女性割合)
※本グラフは、神奈川県の男女別割合を面積比で表した上に、全国の男女別割合を表すライン(折れ線グラフ)を重ねることで神奈川県と全国の比較を行っている。

図２－６

表２－１

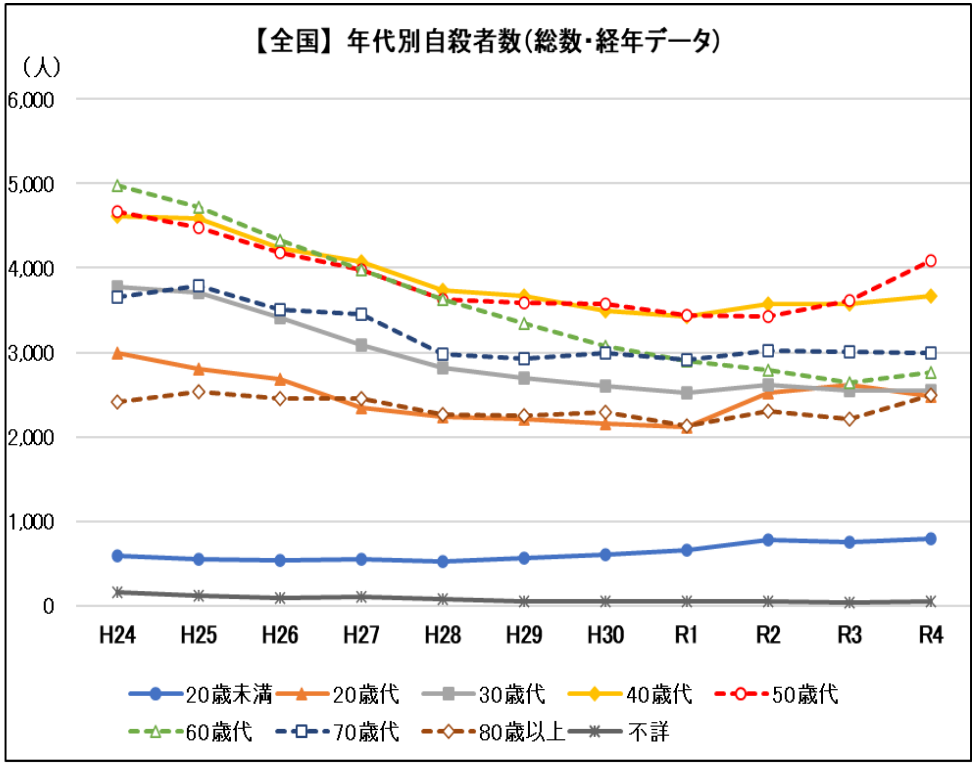


【神奈川県】年代別自殺者数(総数･人)

年代別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
20歳未満	36	38	26	29	33	32	27	42	44	37	46
20歳代	197	177	168	136	150	141	129	118	178	141	188
30歳代	208	259	200	190	157	155	147	155	154	186	153
40歳代	335	314	254	264	245	234	227	182	247	199	249
50歳代	273	252	225	269	217	246	194	212	230	245	285
60歳代	293	233	247	202	185	191	146	139	150	149	164
70歳代	198	188	187	198	140	174	166	151	167	165	142
80歳以上	98	93	112	90	84	101	100	76	99	100	110
不詳	6	4	3	4	2	2	0	1	0	0	0
総数	1,644	1,558	1,422	1,382	1,213	1,276	1,136	1,076	1,269	1,222	1,337

図２－７

表２－２

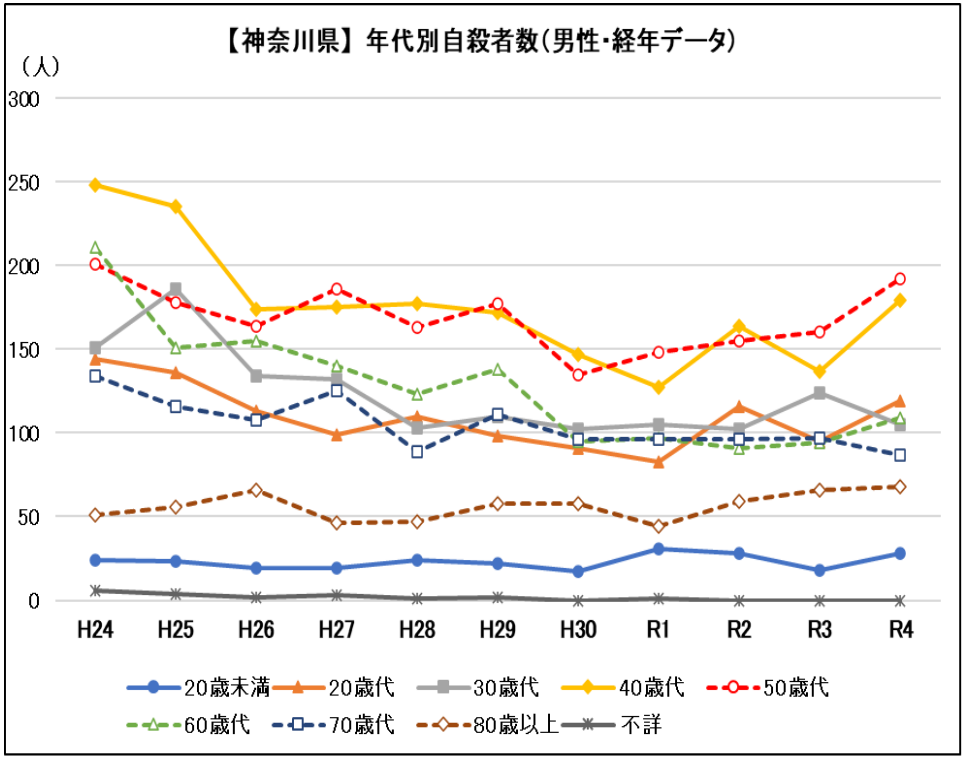


【全国】年代別自殺者数(総数･人)

年代別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
20歳未満	587	547	538	554	520	567	599	659	777	750	798
20歳代	3,000	2,801	2,684	2,352	2,235	2,213	2,152	2,117	2,521	2,611	2,483
30歳代	3,781	3,705	3,413	3,087	2,824	2,703	2,597	2,526	2,610	2,554	2,545
40歳代	4,616	4,589	4,234	4,069	3,739	3,668	3,498	3,426	3,568	3,575	3,665
50歳代	4,668	4,484	4,181	3,979	3,631	3,593	3,575	3,435	3,425	3,618	4,093
60歳代	4,976	4,716	4,325	3,973	3,626	3,339	3,079	2,902	2,795	2,637	2,765
70歳代	3,661	3,785	3,508	3,451	2,983	2,926	2,998	2,917	3,026	3,009	2,994
80歳以上	2,411	2,533	2,457	2,459	2,262	2,256	2,290	2,134	2,305	2,214	2,490
不詳	158	123	87	101	77	56	52	53	54	39	48
総数	27,858	27,283	25,427	24,025	21,897	21,321	20,840	20,169	21,081	21,007	21,881

図2－8

表2－3

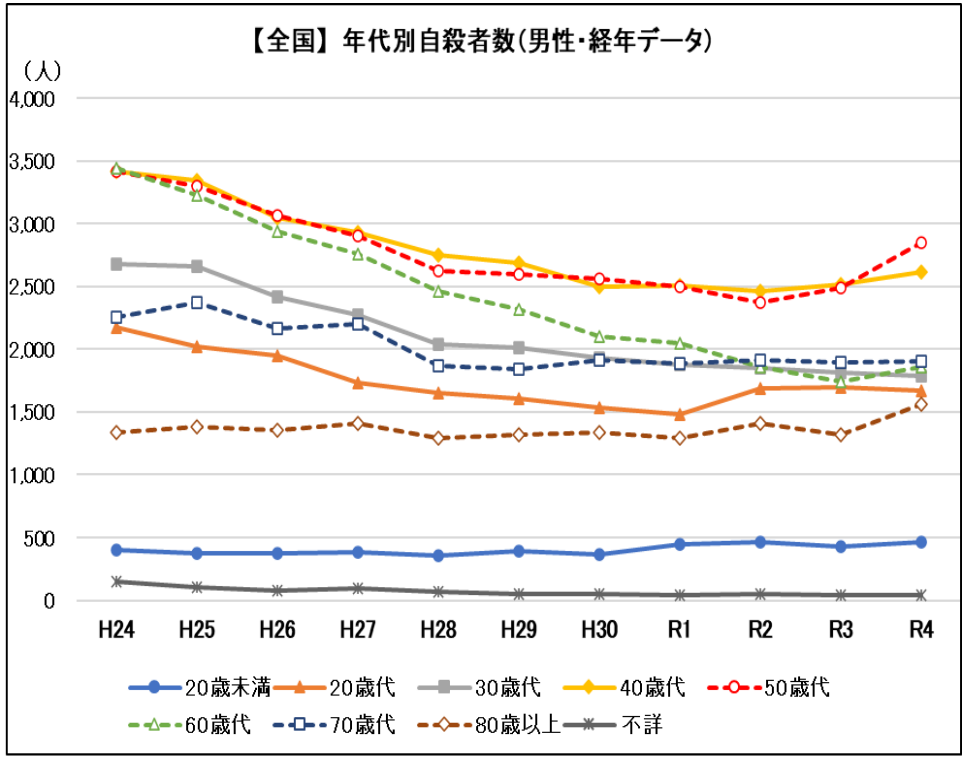


【神奈川県】年代別自殺者数(男性･人)

年代別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
20歳未満	24	23	19	19	24	22	17	31	28	18	28
20歳代	144	136	113	99	110	98	91	83	116	95	119
30歳代	151	186	134	132	103	110	102	105	102	124	105
40歳代	248	235	174	175	177	172	147	127	164	137	179
50歳代	201	178	164	186	163	177	135	148	155	160	192
60歳代	211	151	155	140	123	138	95	97	91	94	109
70歳代	134	116	108	125	89	111	96	96	96	97	87
80歳以上	51	56	66	46	47	58	58	44	59	66	68
不詳	6	4	2	3	1	2	0	1	0	0	0
総数	1,170	1,085	935	925	837	888	741	732	811	791	887

図2－9

表2－4

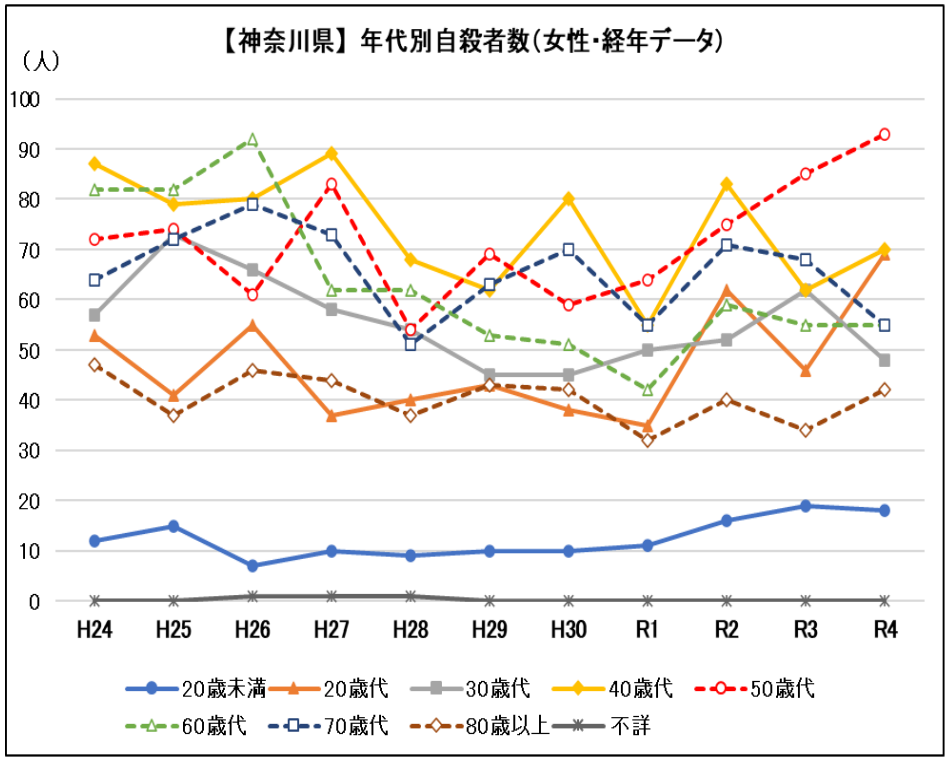


【全国】年代別自殺者数(男性･人)

年代別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
20歳未満	400	374	373	385	354	396	366	443	466	426	464
20歳代	2,177	2,024	1,945	1,731	1,652	1,607	1,538	1,483	1,684	1,699	1,672
30歳代	2,681	2,659	2,413	2,272	2,043	2,010	1,930	1,878	1,846	1,810	1,784
40歳代	3,417	3,344	3,047	2,932	2,751	2,691	2,499	2,511	2,466	2,519	2,611
50歳代	3,417	3,303	3,068	2,906	2,628	2,593	2,558	2,497	2,371	2,492	2,848
60歳代	3,446	3,224	2,942	2,759	2,463	2,319	2,103	2,045	1,859	1,741	1,862
70歳代	2,253	2,370	2,165	2,198	1,870	1,841	1,913	1,882	1,912	1,892	1,906
80歳以上	1,337	1,381	1,359	1,405	1,292	1,320	1,335	1,294	1,405	1,323	1,558
不詳	145	108	74	93	68	49	48	45	46	37	41
総数	19,273	18,787	17,386	16,681	15,121	14,826	14,290	14,078	14,055	13,939	14,746

図2－10

表2－5

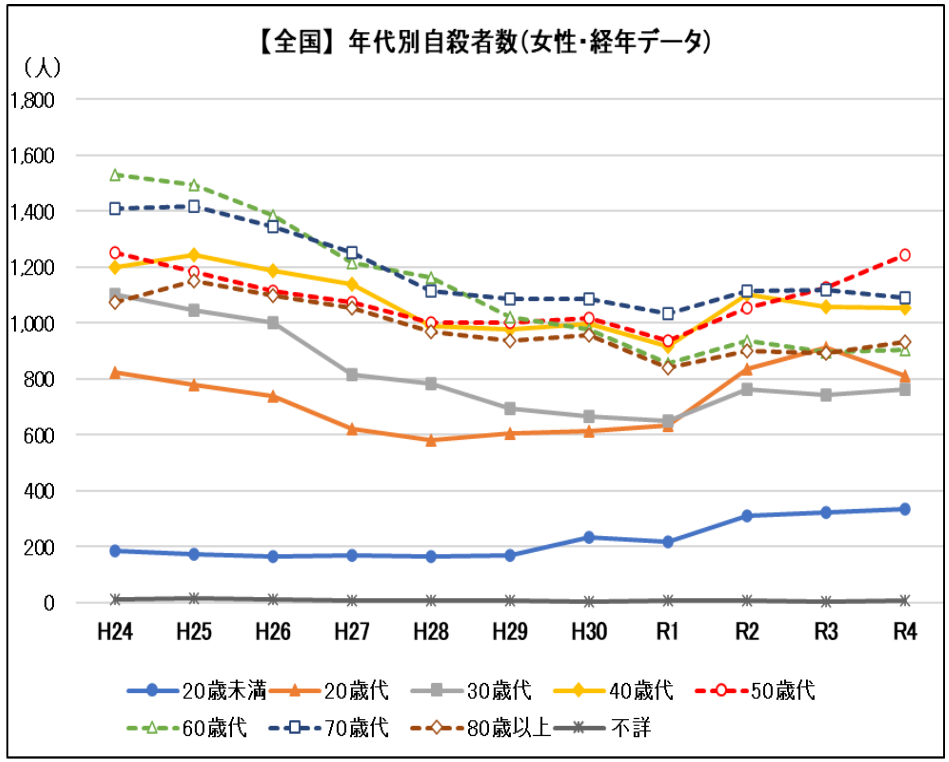


【神奈川県】年代別自殺者数(女性･人)

年代別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
20歳未満	12	15	7	10	9	10	10	11	16	19	18
20歳代	53	41	55	37	40	43	38	35	62	46	69
30歳代	57	73	66	58	54	45	45	50	52	62	48
40歳代	87	79	80	89	68	62	80	55	83	62	70
50歳代	72	74	61	83	54	69	59	64	75	85	93
60歳代	82	82	92	62	62	53	51	42	59	55	55
70歳代	64	72	79	73	51	63	70	55	71	68	55
80歳以上	47	37	46	44	37	43	42	32	40	34	42
不詳	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
総数	474	473	487	457	376	388	395	344	458	431	450

図2－11

表2－6



【全国】年代別自殺者数(女性･人)

年代別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
20歳未満	187	173	165	169	166	171	233	216	311	324	334
20歳代	823	777	739	621	583	606	614	634	837	912	811
30歳代	1,100	1,046	1,000	815	781	693	667	648	764	744	761
40歳代	1,199	1,245	1,187	1,137	988	977	999	915	1,102	1,056	1,054
50歳代	1,251	1,181	1,113	1,073	1,003	1,000	1,017	938	1,054	1,126	1,245
60歳代	1,530	1,492	1,383	1,214	1,163	1,020	976	857	936	896	903
70歳代	1,408	1,415	1,343	1,253	1,113	1,085	1,085	1,035	1,114	1,117	1,088
80歳以上	1,074	1,152	1,098	1,054	970	936	955	840	900	891	932
不詳	13	15	13	8	9	7	4	8	8	2	7
総数	8,585	8,496	8,041	7,344	6,776	6,495	6,550	6,091	7,026	7,068	7,135

(3) 職業別の状況

本県の令和４年における職業別の自殺者数は、無職（学生・生徒除く）が最も多いが、前年度より 43 人減り 656 人。次いで、有職者が前年比 103 人増の 549 人であった。また、年金・雇用保険等生活者が 97 人増の 295 人、失業者が 34 人増の 77 人、学生・生徒が 17 人増の 70 人と増加している。

図2－12

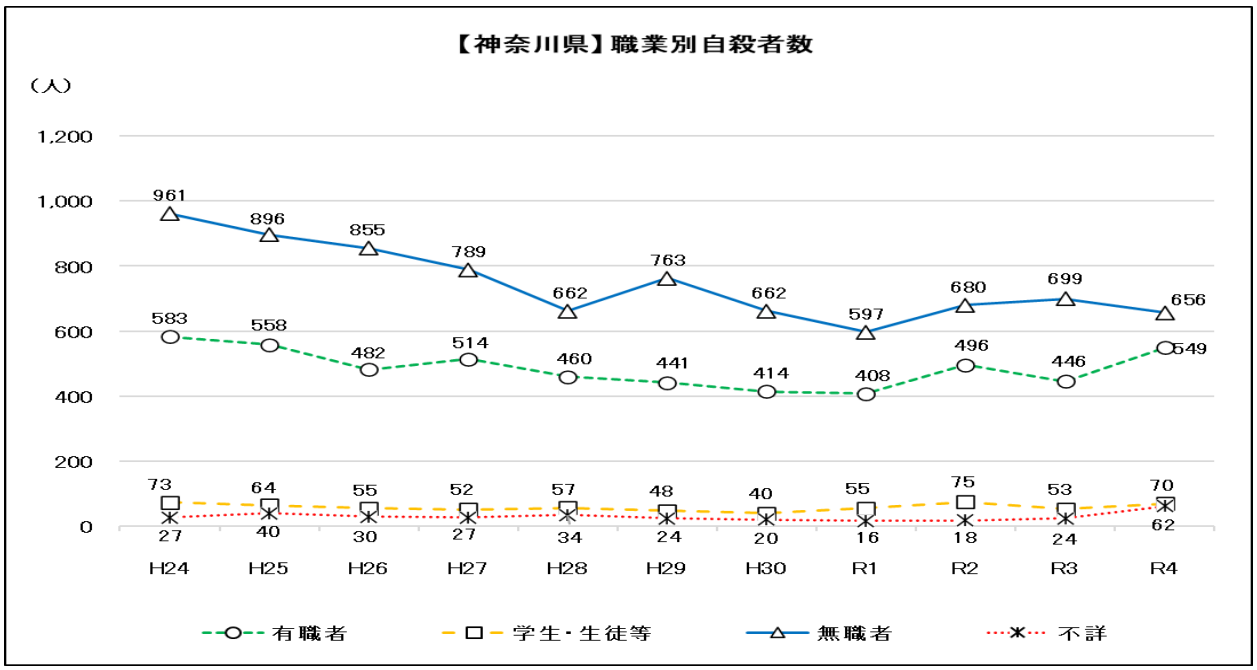
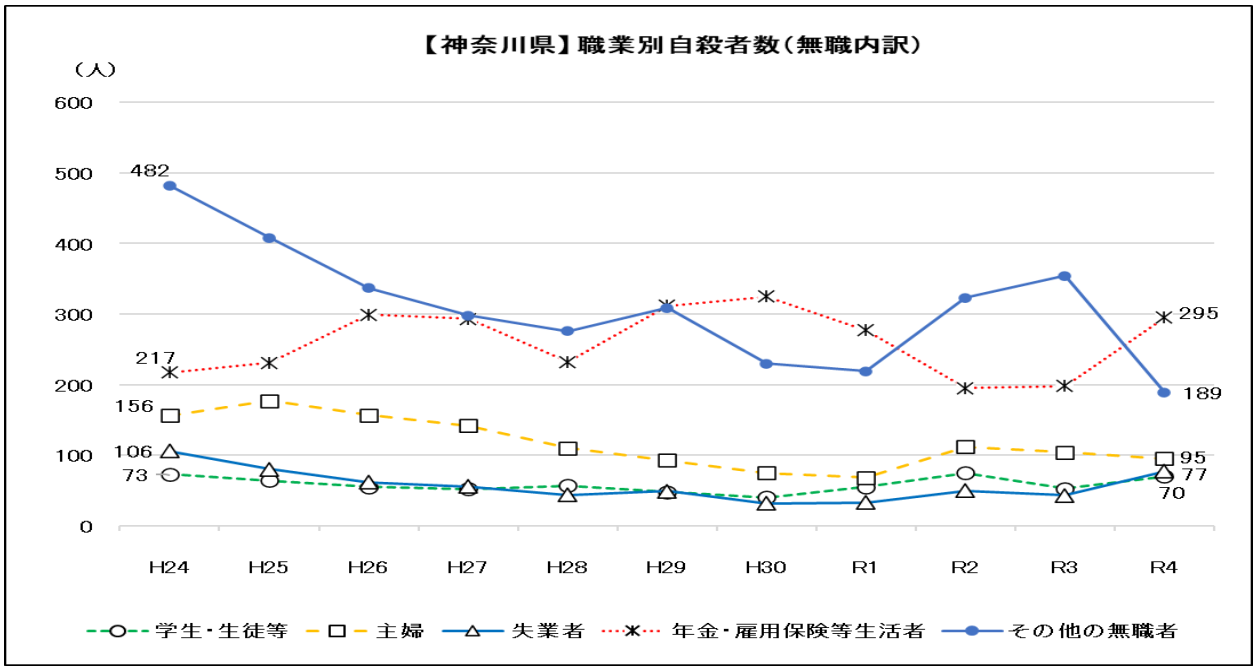


図2－13

表2－7



無職内訳		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
学生・生徒等		73	64	55	52	57	48	40	55	75	53	70
無職者	主婦	156	177	157	142	110	93	75	68	112	104	95
	失業者	106	80	62	56	44	49	32	33	50	43	77
	年金・雇用保険等生活者	217	231	299	293	232	312	325	277	195	198	295
	その他の無職者	482	408	337	298	276	309	230	219	323	354	189
	無職者計	961	896	855	789	662	763	662	597	680	699	656
無職計		1,034	960	910	841	719	811	702	652	755	752	726

図2—14

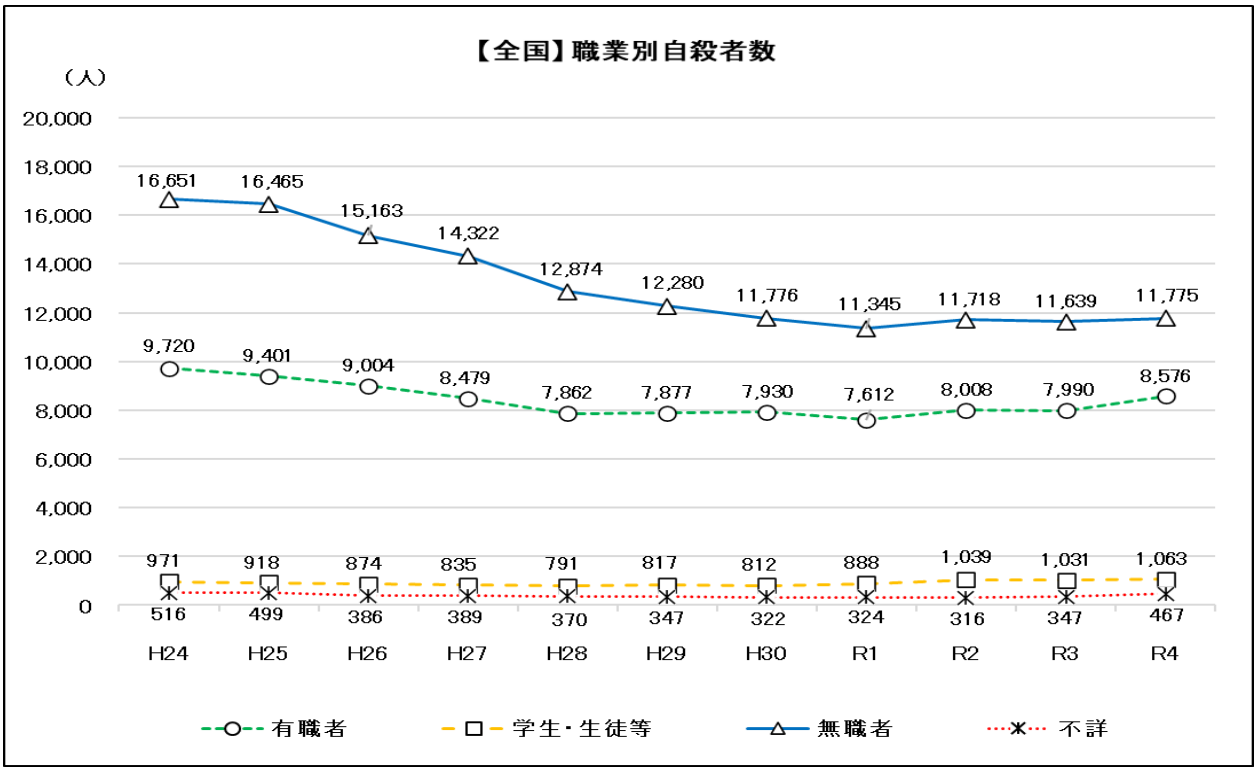
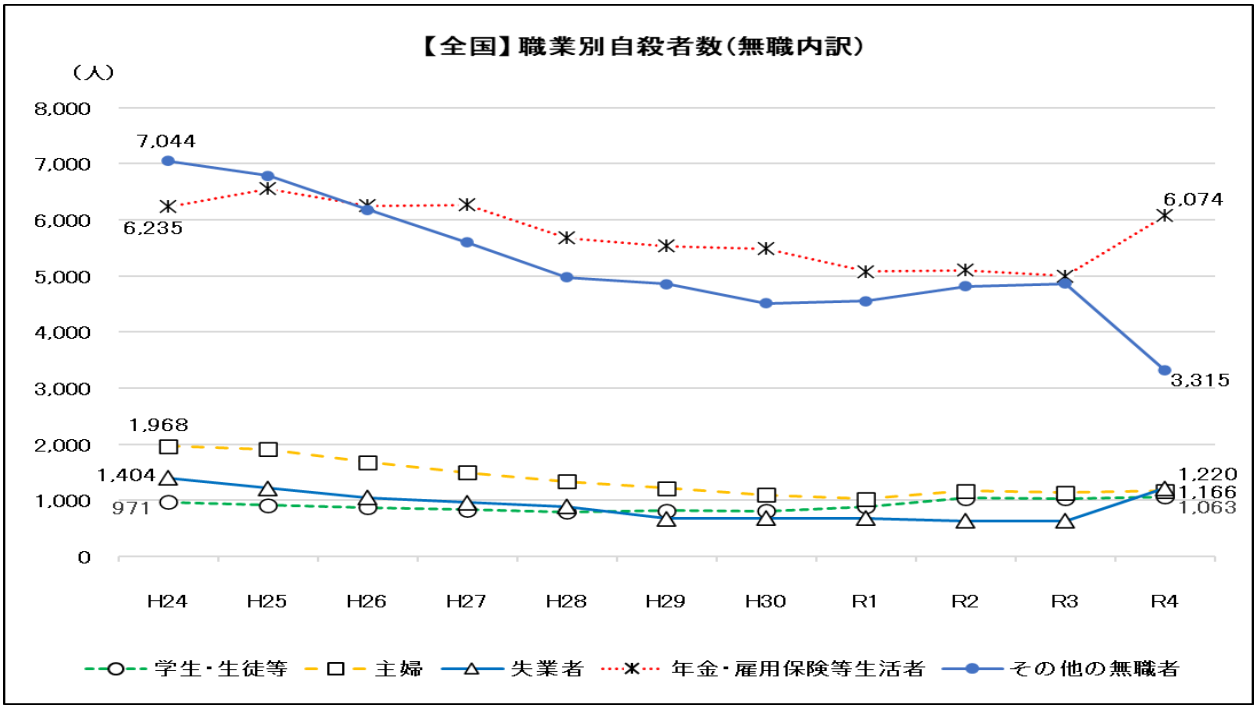


図2—15

表2－8



無職内訳		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
学生・生徒等		971	918	874	835	791	817	812	888	1,039	1,031	1,063
無職者	主婦	1,968	1,914	1,680	1,498	1,340	1,215	1,095	1,025	1,168	1,136	1,166
	失業者	1,404	1,217	1,052	962	888	678	682	684	636	636	1,220
	年金・雇用保険等生活者	6,235	6,551	6,250	6,267	5,675	5,534	5,484	5,081	5,101	5,001	6,074
	その他の無職者	7,044	6,783	6,181	5,595	4,971	4,853	4,515	4,555	4,813	4,866	3,315
	無職者計	16,651	16,465	15,163	14,322	12,874	12,280	11,776	11,345	11,718	11,639	11,775
無職計		17,622	17,383	16,037	15,157	13,665	13,097	12,588	12,233	12,757	12,670	12,838

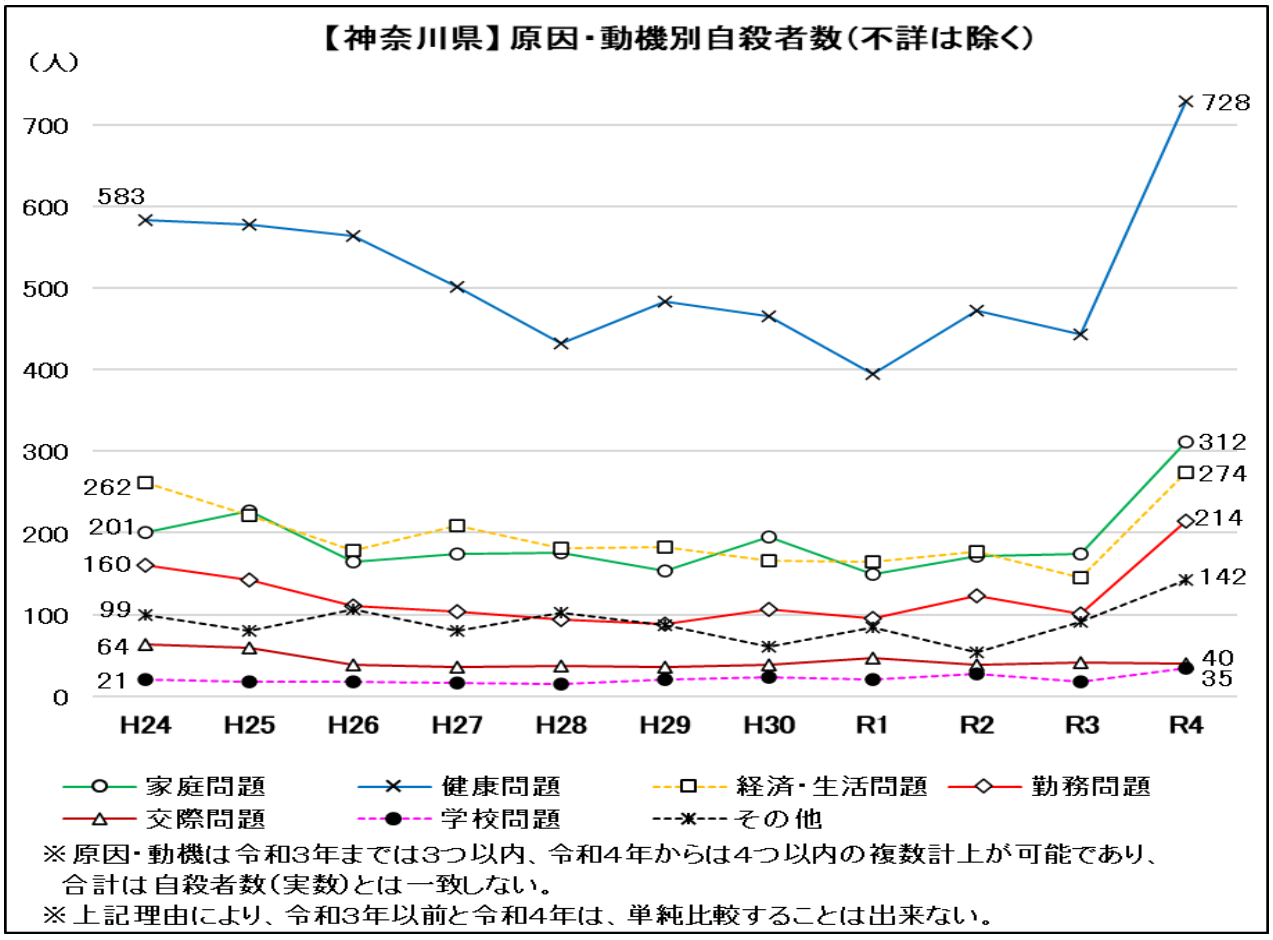
（4）原因・動機別の状況

本県の令和４年の自殺者のうち、原因・動機が判明した自殺者は、「健康問題」が 728 人と最も多く、次いで「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」となっている。

各年齢階級別の原因・動機別では、「健康問題」が 19 歳以下を除くすべての年齢階級で第１位となっており、19 歳以下は「学校問題」が第１位となっている。

自殺は多様で複合的な原因・背景があり、様々な要因が絡み合う中で起きている。

図2－16
表2－9



原因・動機別内訳	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
家庭問題	201	227	165	175	176	154	195	150	171	174	312
健康問題	583	578	564	502	432	483	466	394	472	443	728
経済・生活問題	262	221	178	209	181	183	166	164	177	145	274
勤務問題	160	142	111	104	94	88	106	96	123	101	214
交際問題	64	60	39	36	37	36	38	47	39	42	40
学校問題	21	18	18	17	15	21	24	20	27	18	35
その他	99	80	106	80	103	87	61	84	54	91	142
不詳	674	626	579	598	493	538	418	414	529	528	190
総計	2,064	1,952	1,760	1,721	1,531	1,590	1,474	1,369	1,592	1,542	1,935
自殺者数（実数）	1,644	1,558	1,422	1,382	1,213	1,276	1,136	1,076	1,269	1,222	1,337

←原因・動機3つ以内 | →原因・動機4つ以内

表２－10

【神奈川県】 令和4年における各年齢階級別の原因・動機別順位（第3位まで）と割合

年 代	第1位		第2位		第3位	
	原　因	割合	原　因	割合	原　因	割合
10歳代	学校問題	39.1%	健康問題	23.9%	家庭問題	21.7%
20歳代	健康問題	41.5%	勤務問題	22.3%	家庭問題	15.4%
30歳代	健康問題	37.3%	家庭問題	25.5%	勤務問題	22.9%
40歳代	健康問題	45.8%	経済・生活問題	28.9%	勤務問題	25.3%
50歳代	健康問題	53.0%	家庭問題	27.7%	経済・生活問題	26.3%
60歳代	健康問題	65.2%	経済・生活問題	25.6%	家庭問題	18.9%
70歳代	健康問題	82.4%	家庭問題	28.9%	経済・生活問題	10.6%
					その他	10.6%
80歳代以上	健康問題	84.5%	家庭問題	25.5%	その他	9.1%
全年代	健康問題	54.5%	家庭問題	23.3%	経済・生活問題	20.5%

※　不詳は除く。

※　原因・動機は４つ以内の複数計上可能であり、自殺者の割合は、自殺者数（実数）を母数として、それぞれの原因・動機に該当した人数の割合を算出している。

（5）自殺未遂歴の状況

本県の令和４年における自殺者のうち自殺未遂歴があった人は、前年より 21 人減少し、259 人で自殺者に占める割合は 19.4%となっている。また、男女別では、男性が 125 人(14.1%)、女性が 134 人(29.8%) で女性の方が人数が多く、依然女性の方が未遂歴ある割合が高い傾向にある。

図２－17

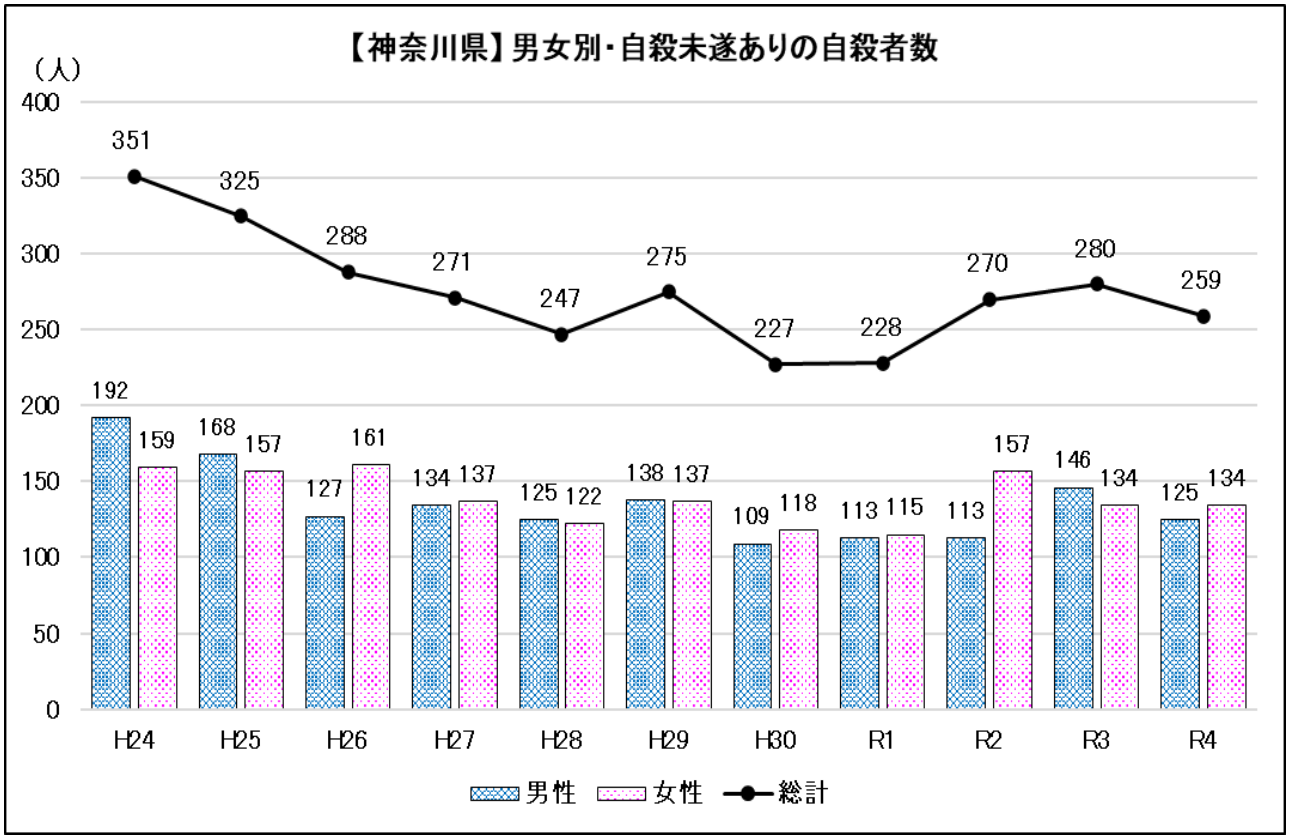


図２－18

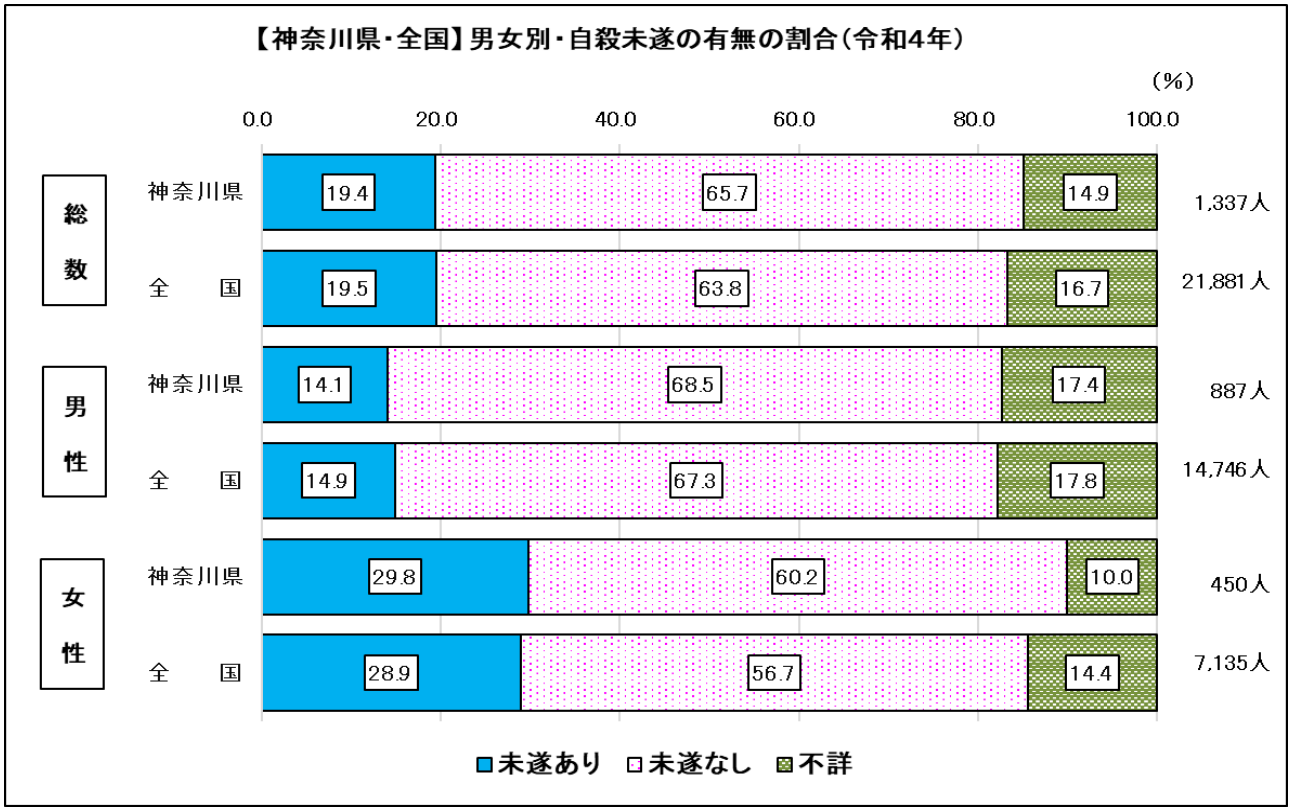
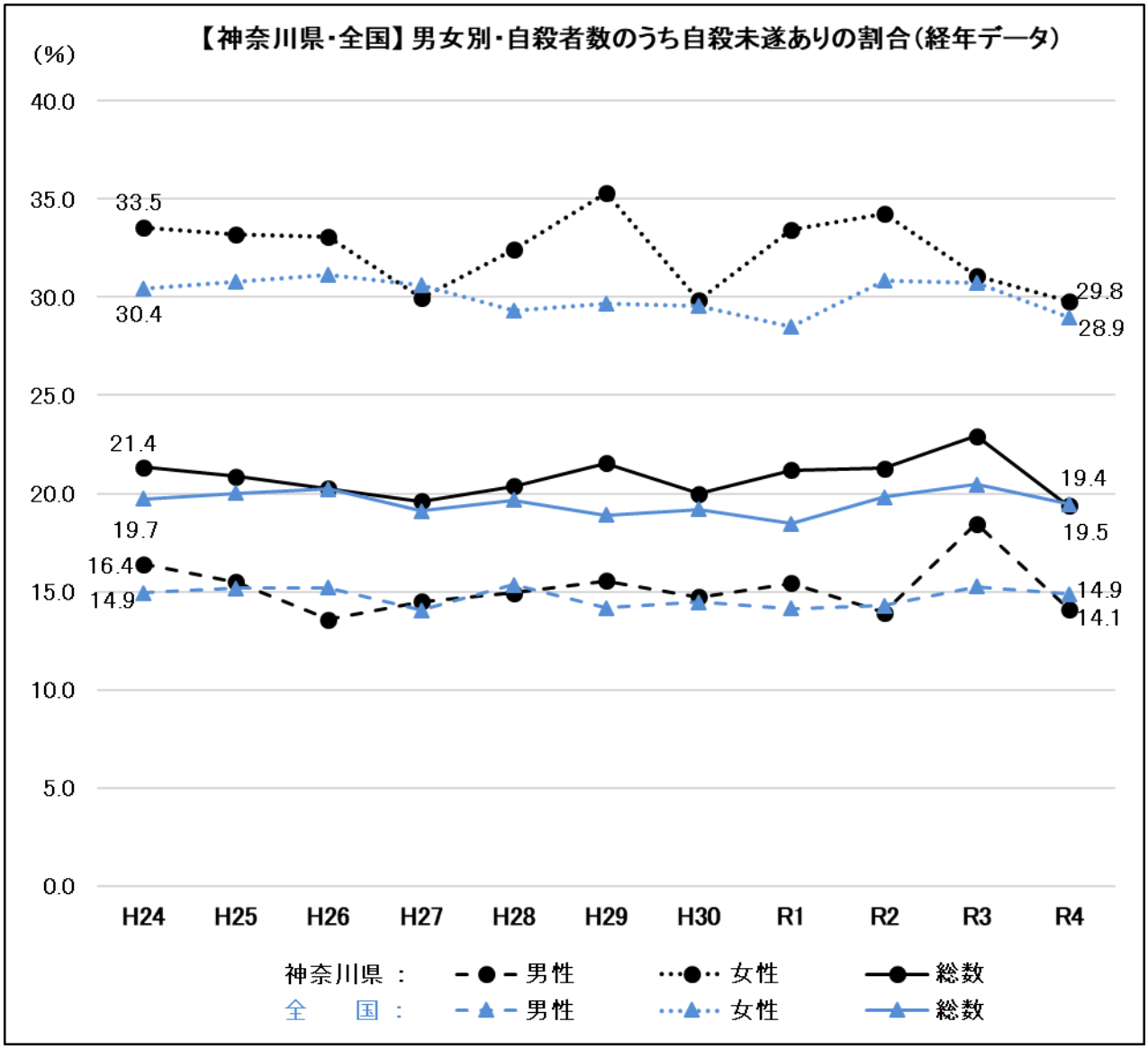


図2－19


【神奈川県・全国】男女別・自殺者数のうち自殺未遂ありの割合（経年データ）
(%)
40.0
35.0
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
33.5
30.4
29.8
28.9
21.4
19.7
19.4
19.5
16.4
14.9
14.9
14.1
H24
H25
H26
H27
H28
H29
H30
R1
R2
R3
R4
神奈川県 ： 男性 女性 総数
全 国 ： 男性 女性 総数

３ 詳細データ

（1）月別の状況

令和４年の月別の自殺者数の状況を見ると、本県は「6 月」が最も多いが、全国と同様「５月」も多い。最も少ないのは本県と全国ともに「２月」となっている。全国、本県ともに「２月」から「３月」にかけて増加率が高くなっている。

図３－１

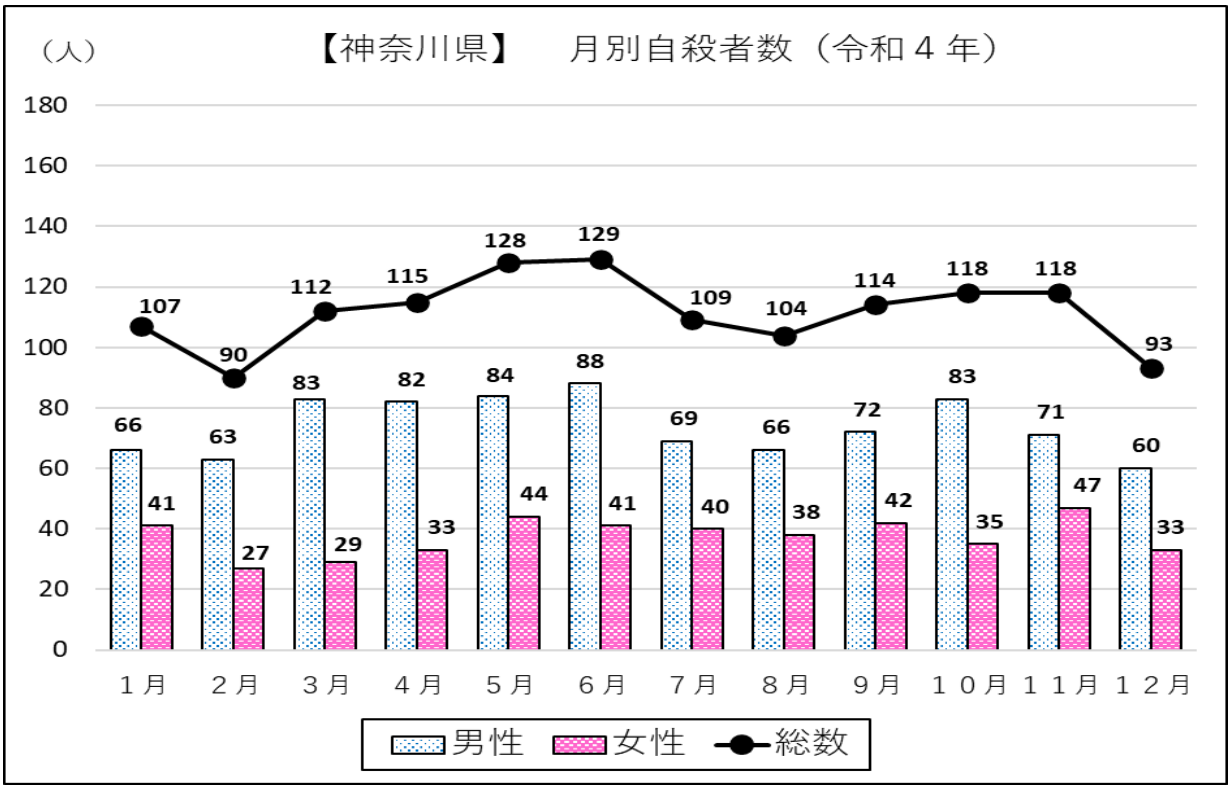
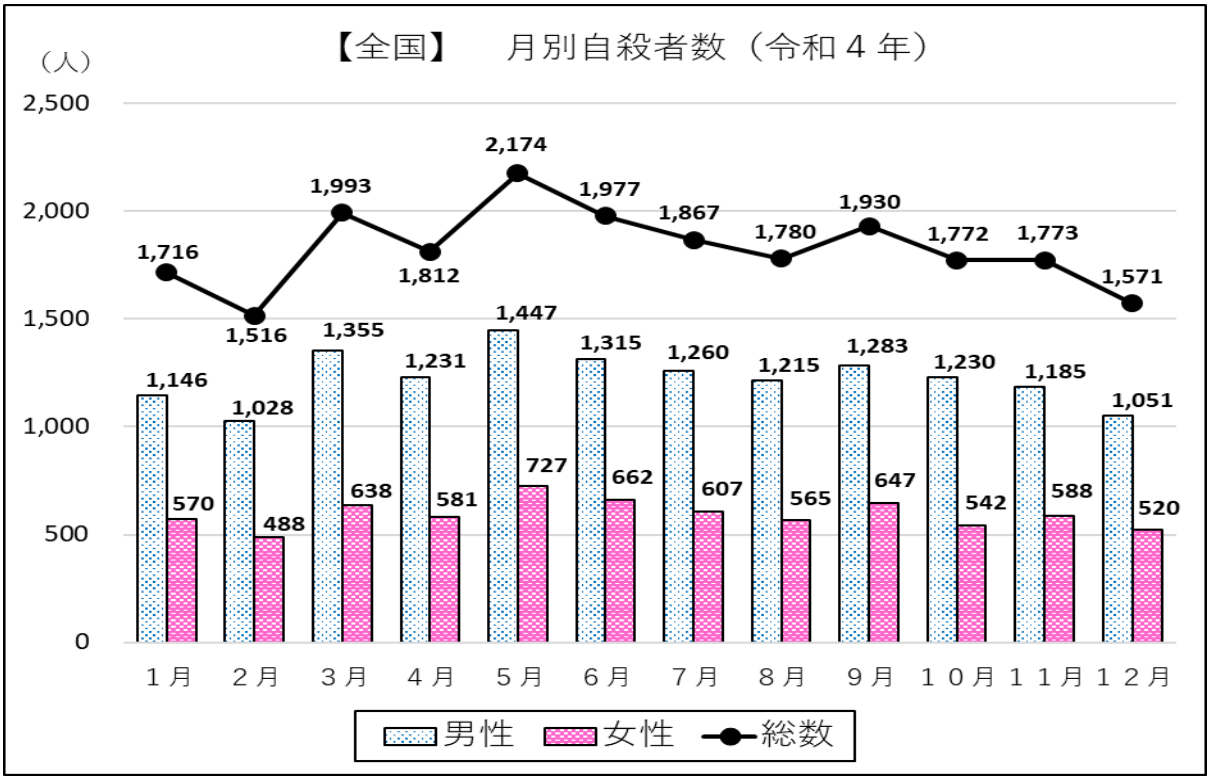
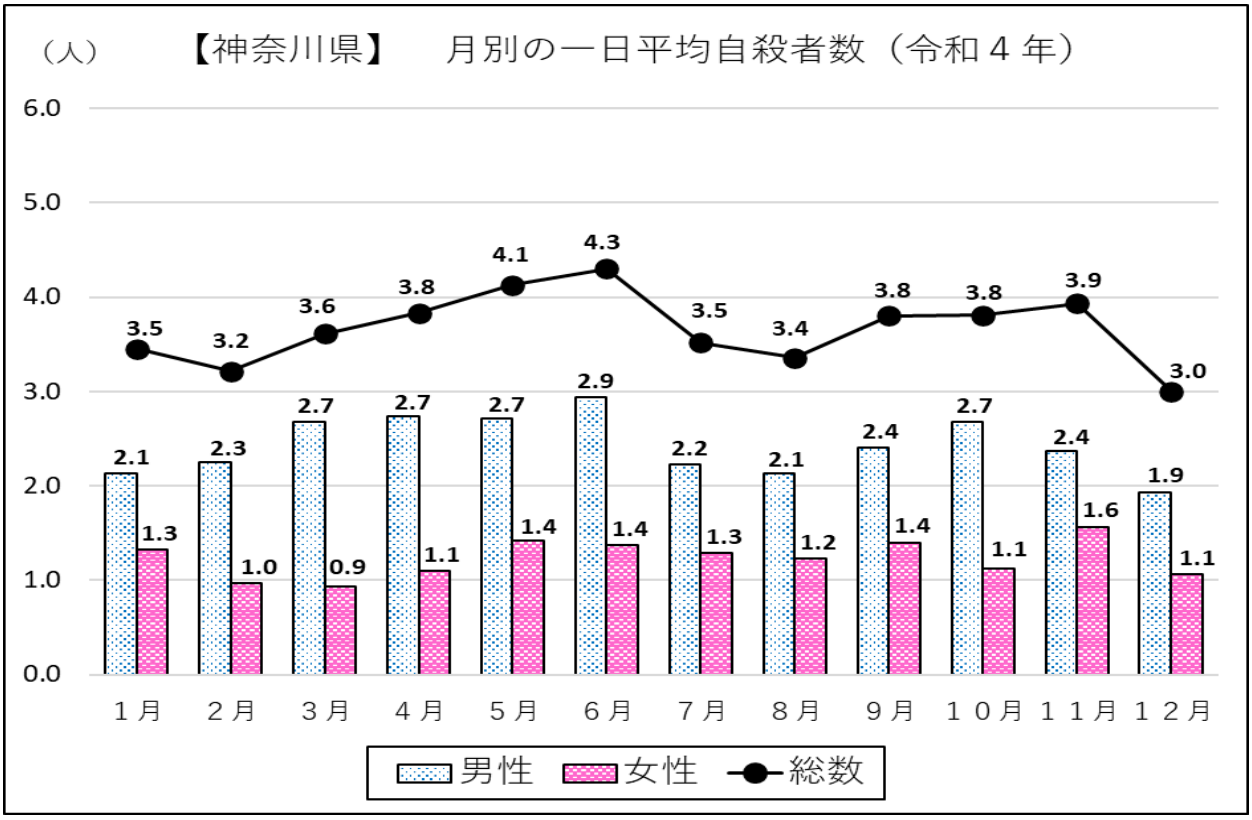


図３－２



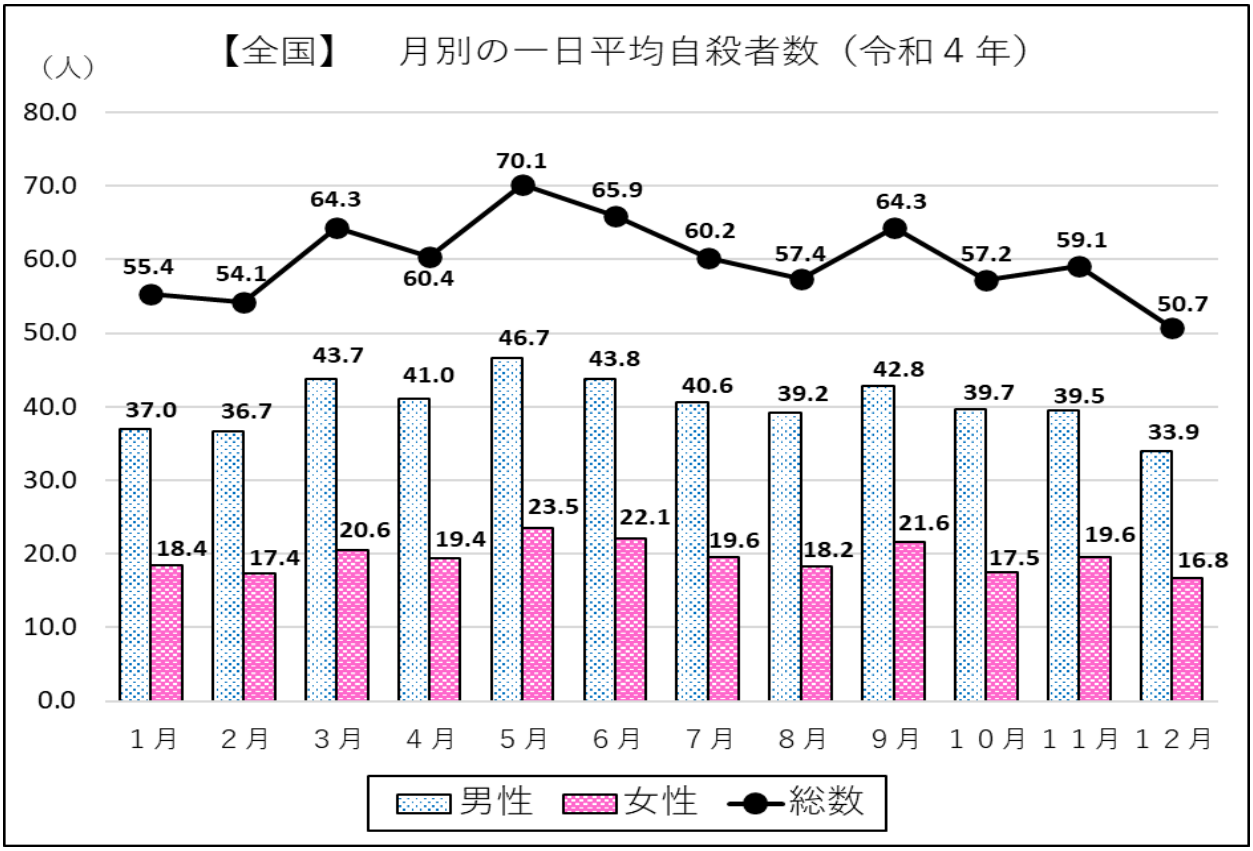
月別の一日平均自殺者数の状況を見ると、総数としては本県は「６月」と全国では「５月」が多くなっている。
本県と全国ともに「12 月」が最も少ない。

図３－３



※　各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

図３－４



※　各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

（2） 男女別･年齢階級別･月別自殺者数の状況

本県の令和４年における月別自殺者数の推移をみると、男性は「6 月」が最も多く、女性は「11 月」が最も多い。男女とも「2 月」は自殺者が減少している。

特に男性は「４月」の 40 歳代、「5 月」の 20 歳代、「９月」の 40 歳代、「10 月」の 50 歳代、30 歳代に、また女性は「４月」の 50 歳代、「5 月」「7 月」の 20 歳代、「11 月」の 40 歳代に増加がみられる。

図3－5

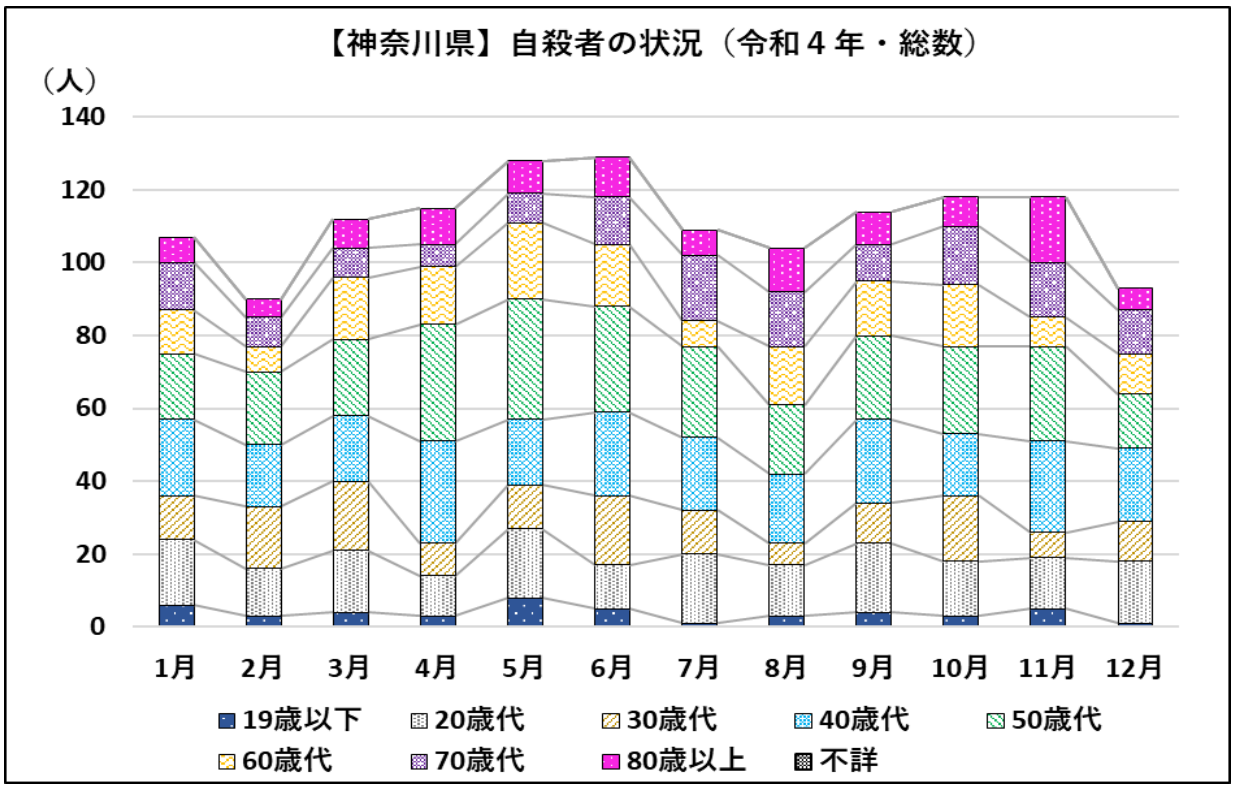


図3－6

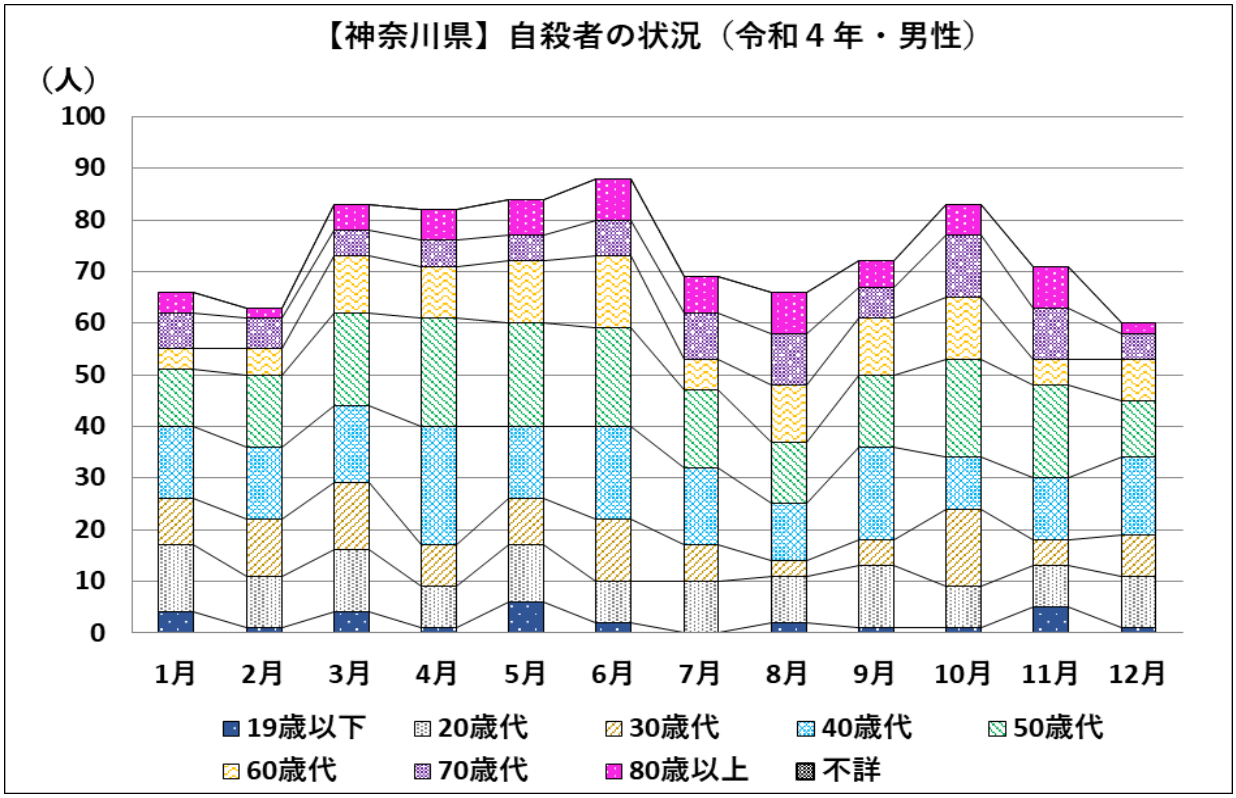
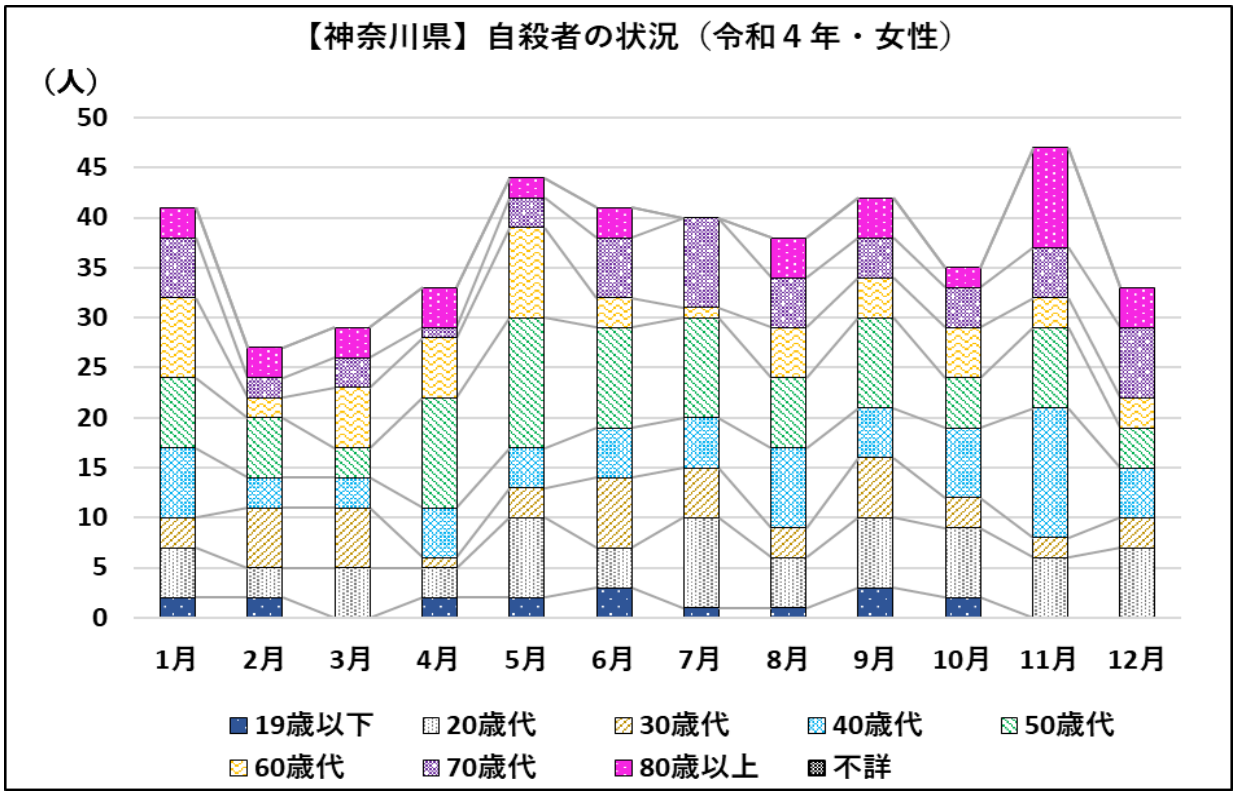


図3－7

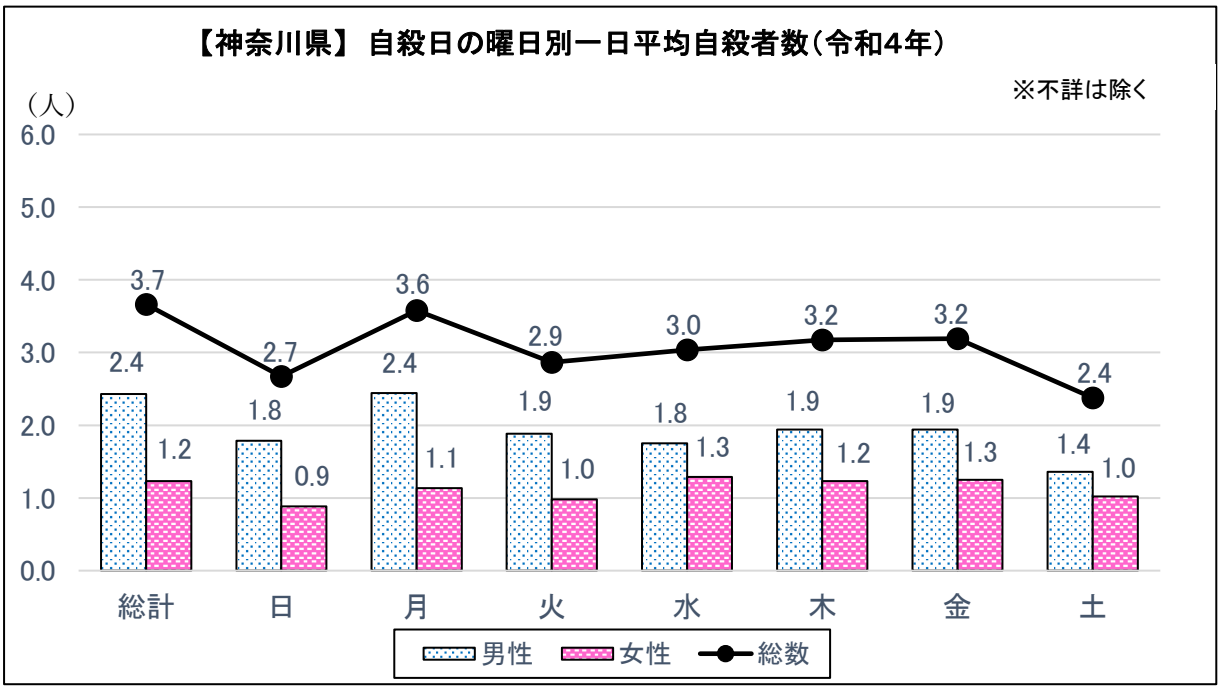

【神奈川県】自殺者の状況（令和４年・女性）
（人）
50
45
40
35
30
25
20
15
10
5
0
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
19歳以下
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳代
80歳以上
不詳

(3) 曜日別の状況

曜日別の一日平均自殺者数の状況を見ると、本県では男性は「月曜日」が最も多く、女性は曜日別では大きな増減はない。

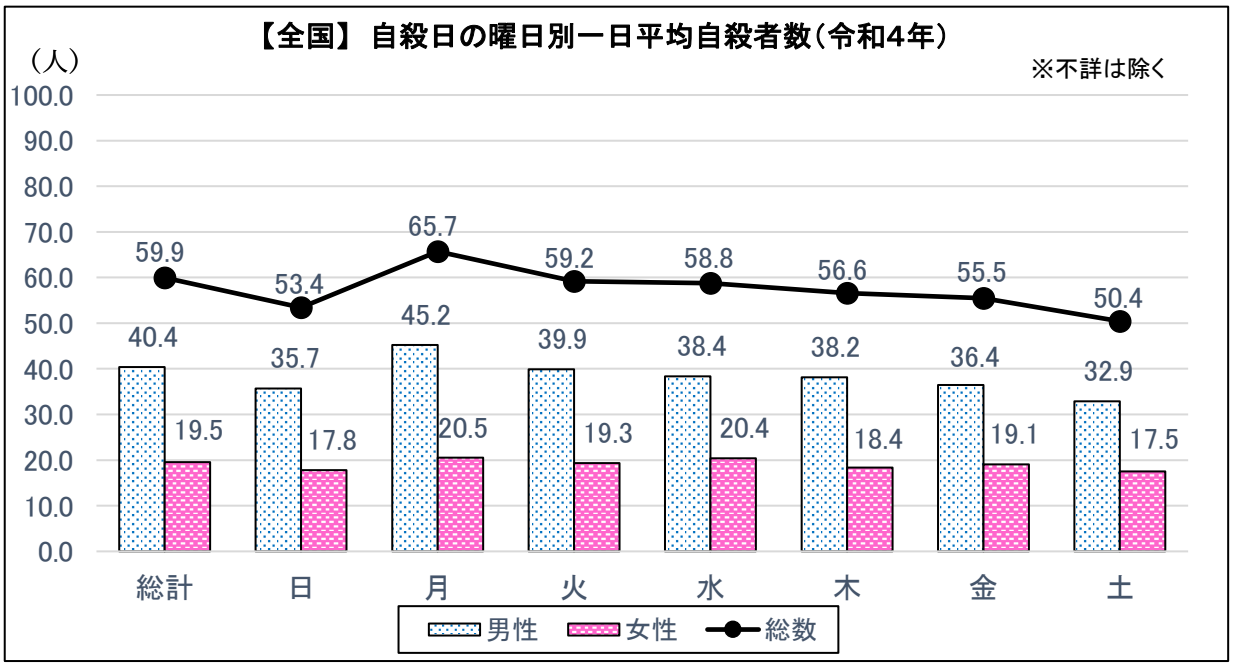
また、最も少ない曜日は、本県では男性が「土曜日」、女性が「日曜日」であるのに対し、全国では男女ともに「土曜日」となっている。

図３－８



※「曜日別」については、比較する全国データが「自殺日」に基づいて集計しているため、神奈川県についても「発見日」ではなく、「自殺日」に基づいて集計した。
※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。
※「総計」は曜日不詳を含む自殺者数の一日平均自殺者数となっている。

図３－９

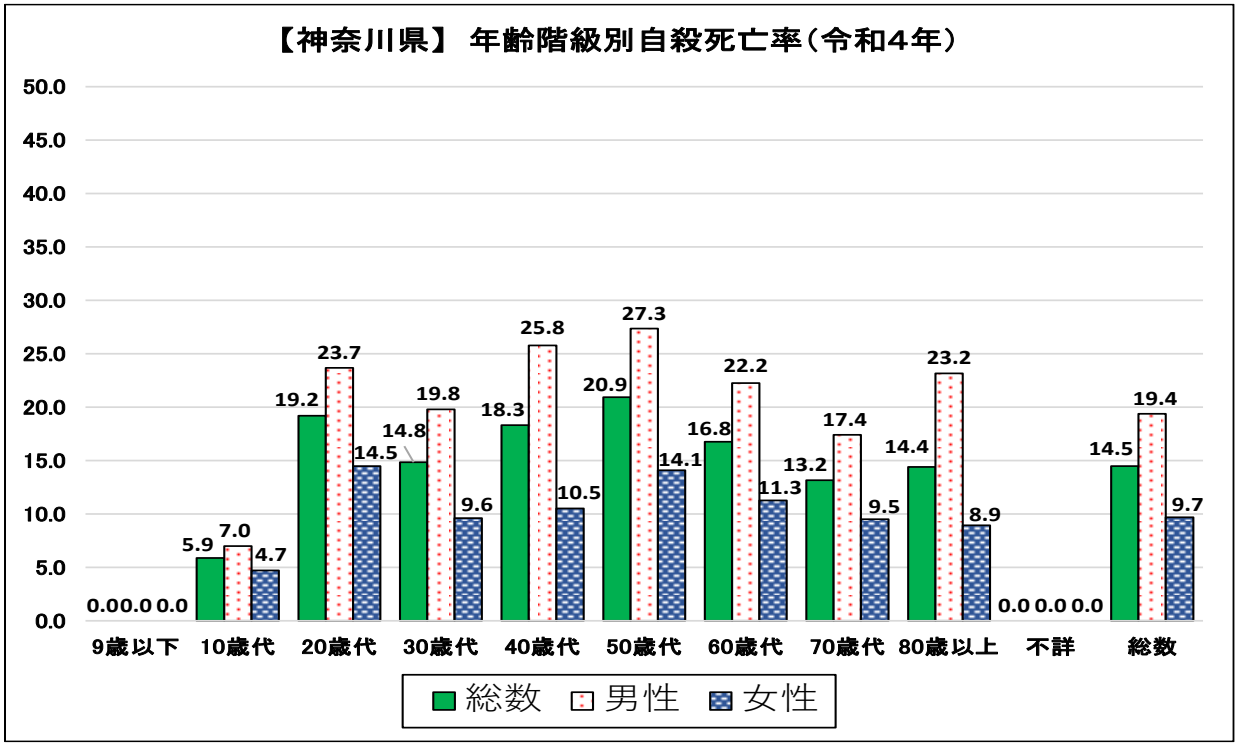


※ 「曜日別」については、比較する全国データが「自殺日」に基づいて集計しているため、神奈川県についても「発見日」ではなく、「自殺日」に基づいて集計した。
※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。
※ 「総計」は曜日不詳を含む自殺者数の一日平均自殺者数となっている。

（4）年齢階級別自殺死亡率の状況

本県の令和４年における年齢階級別の自殺死亡率を見ると、男性は「50 歳代」が最も多く、次いで「40 歳代」、「20 歳代」の順となっており、女性は「50 歳代」、「20 歳代」、「40 歳代」の順となっている。

図３－10



※　自殺死亡率は、人口 10 万人当たりの自殺者数を表す（自殺者数÷人口×100,000 人）。

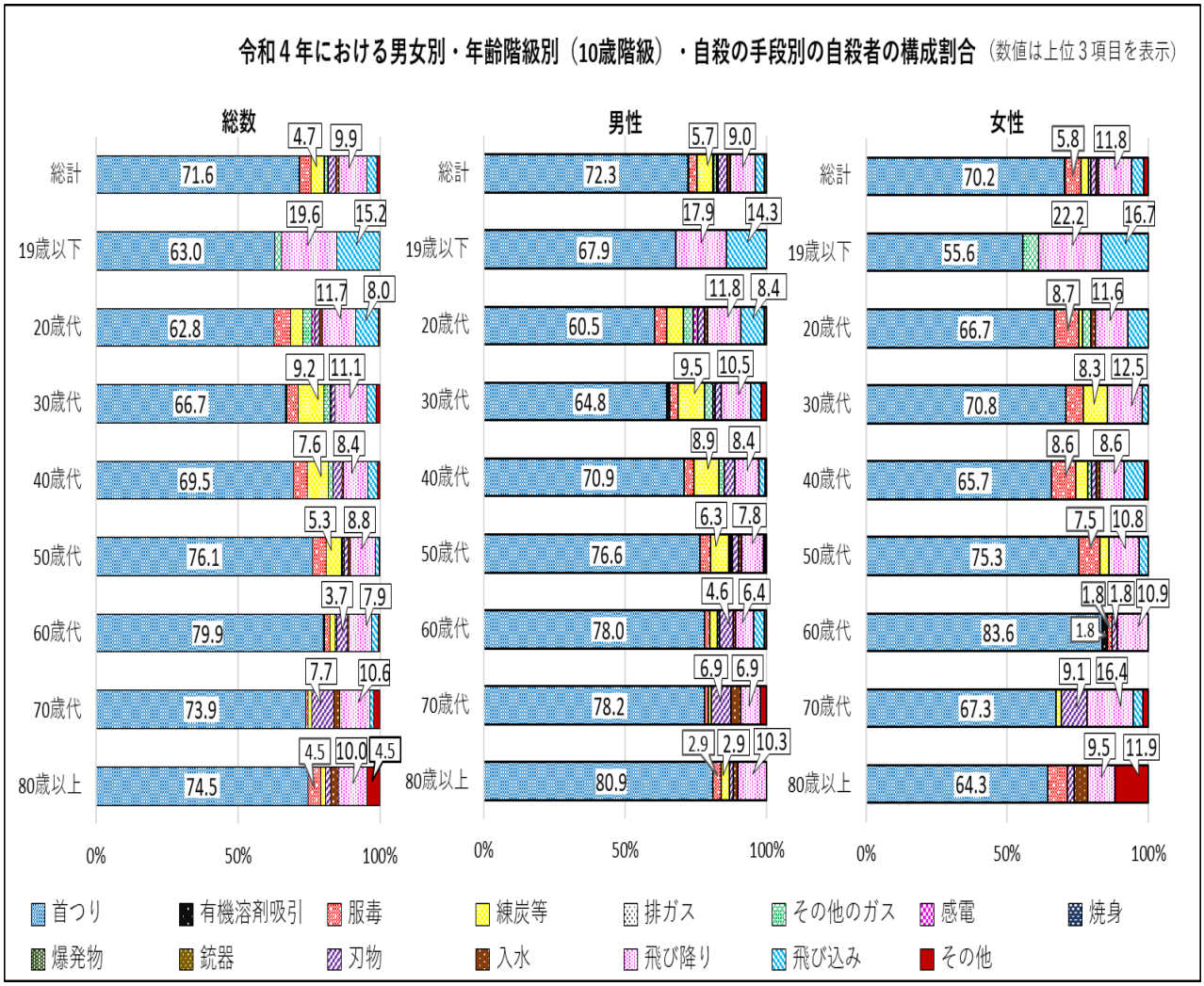
※　各年齢階級別等の人口は、神奈川県年齢別人口統計調査（該当年１月１日現在）に基づく。

（5） 男女別・年齢階級別・自殺の手段別の状況

本県の令和４年における男女別・年齢階級別・自殺の手段別の構成割合をみると、男女ともにすべての年齢階級において「首つり」が最も多く、次いで「飛び降り」、次に男性は「練炭等」、女性は「服毒」の順となっている。

年齢階級別に見ると、「19 歳以下」の男女では、「飛び降り」、「飛び込み」の割合が他の年代と比較して多く、「70 歳代」の女性は「飛び降り」の割合が多くなっている。

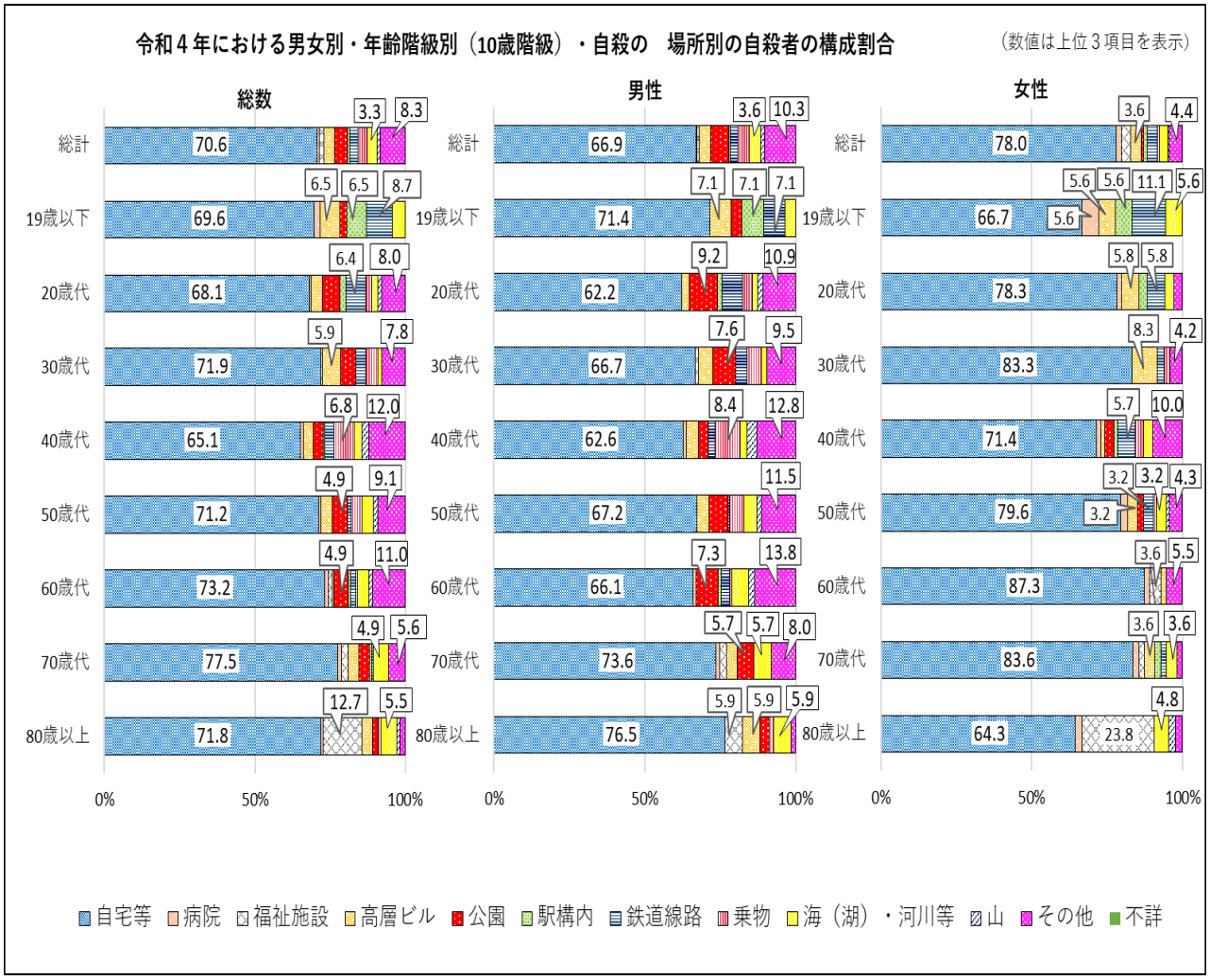
図３－11



（6）男女別･年齢階級別･自殺の場所別の状況

本県の令和４年における男女別・年齢階級別・自殺の場所別の構成割合をみると、男女ともにすべての年齢階級において「自宅」が最も多い。男性では、「自宅」に次いで「その他」、「公園」の順となっており、女性では、「自宅」に次いで「その他」、「高層ビル」の順となっている。

図３－12



(7) 職業別・年齢階級別の状況

本県の職業別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」が最も多く、次いで「有職者」「学生・生徒」の順となっている。また、「無職者」の内訳を見ると、「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、次いで「その他の無職者」、「主婦」、「失業者」の順となっている。

さらに、職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」では「70 歳代」が、「有職者」では「50 歳代」が、「学生・生徒等」では「19 歳以下」が最も多くなっている。また、学生・生徒のうち小学生から高校生が 28 人であった。「無職者」の内訳については、「年金・雇用保険等生活者」では「80 歳以上」が、「その他の無職者」では「20 歳代」が、「主婦」では「50 歳代」が最も多い。「失業者」では「50 歳代」が多くなっている。

なお、男女別の職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、男性では「50 歳代の有職者」が最も多く、次いで「40 歳代の有職者」、「30 歳代の有職者」となっており、女性では「50 歳代の主婦」が最も多く、次いで「80 歳以上」「70 歳代」の「年金・雇用保険等生活者」の順となっている。

表３－１

【神奈川県】 年齢階級別、職業別自殺者数（令和４年）

職業別＼年齢階級別		～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	不詳	合計
合計	計	46	188	153	249	**285**	164	142	110	0	1,337
	男	28	119	105	179	**192**	109	87	68	0	887
	女	18	69	48	70	**93**	55	55	42	0	450
有職者	計	4	90	91	141	**151**	52	19	1	0	549
	男	3	58	68	115	**123**	47	15	1	0	430
	女	1	**32**	23	26	28	5	4	0	0	119
無職 学生・生徒等	計	**38**	31	0	1	0	0	0	0	0	70
	男	24	**26**	0	0	0	0	0	0	0	50
	女	**14**	5	0	1	0	0	0	0	0	20
無職 学生・生徒等 小学生	計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無職 学生・生徒等 中学生	計	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	男	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
無職 学生・生徒等 高校生	計	**20**	1	0	0	0	0	0	0	0	21
	男	**12**	1	0	0	0	0	0	0	0	13
	女	**8**	0	0	0	0	0	0	0	0	8
無職 学生・生徒等 その他	計	11	**30**	0	1	0	0	0	0	0	42
	男	7	**25**	0	0	0	0	0	0	0	32
	女	4	**5**	0	1	0	0	0	0	0	10
無職 無職者	計	4	61	50	95	119	101	**120**	106	0	656
	男	1	29	27	55	58	53	**69**	65	0	357
	女	3	32	23	40	**61**	48	51	41	0	299
無職 無職者 主婦	計	0	2	7	14	**37**	20	12	3	0	95
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	2	7	14	**37**	20	12	3	0	95
無職 無職者 失業者	計	0	8	8	19	**28**	12	2	0	0	77
	男	0	4	4	15	**24**	10	2	0	0	59
	女	0	**4**	**4**	**4**	**4**	2	0	0	0	18
無職 無職者 年金・雇用保険等生活者	計	0	7	10	23	19	47	92	**97**	0	295
	男	0	3	7	13	16	29	58	**60**	0	186
	女	0	4	3	10	3	18	34	**37**	0	109
無職 無職者 その他	計	4	**44**	25	39	35	22	14	6	0	189
	男	1	22	16	**27**	18	14	9	5	0	112
	女	3	**22**	9	12	17	8	5	1	0	77
不詳	計	0	6	12	12	**15**	11	3	3	0	62
	男	0	6	10	9	**11**	9	3	2	0	50
	女	0	0	2	3	**4**	2	0	1	0	12

注） 学生・生徒等の「その他」は、「大学生」、「専修学校生」及び「予備校生」を足し合わせたもの。

注） 無職者の「その他」は、「主夫」「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」等を足し合わせたもの。

全国の職業別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」が最も多く、次いで「有職者」、「学生・生徒等」の順となり、「無職者」の内訳は、多い順から「年金・雇用保険等生活者」、「その他の無職者」、「失業者」となっている。

職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、「有職者」において、全国では40歳代が最も多いのに対し、本県は50歳代が最も多くなっている。また、「無職者」内訳の「年金・雇用保険等生活者」においては、全国では「70歳代」が最も多いのに対し、本県では「80歳以上」で多くなっている。

なお、全国の男女別の職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、男性では「50歳代の有職者」が最も多く、次いで「40歳代の有職者」、「30歳代の有職者」となっており、女性では「70歳代」「80歳以上」「60歳代」の「年金・雇用保険等生活者」の順となっている。

表３－２

【全国】 年齢階級別、職業別自殺者数（令和4年）

職業別＼年齢階級別			～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	不詳	合計
合計		計	798	2,483	2,545	3,665	**4,093**	2,765	2,994	2,490	48	21,881
		男	467	1,676	1,783	2,601	**2,776**	1,633	1,339	1,024	41	13,340
		女	331	807	762	1,064	1,317	1,132	**1,655**	1,466	7	8,541
有職者		計	94	1,278	1,495	**2,148**	2,123	936	402	100	0	8,576
		男	67	907	1,165	1,719	**1,738**	796	329	90	0	6,811
		女	27	371	330	**429**	385	140	73	10	0	1,765
無職	学生・生徒等	計	**633**	411	12	7	0	0	0	0	0	1,063
		男	**366**	285	7	5	0	0	0	0	0	663
		女	**267**	126	5	2	0	0	0	0	0	400
	無職者	計	69	732	972	1,432	1,863	1,772	**2,560**	2,375	0	11,775
		男	33	447	558	813	958	791	**986**	923	0	5,509
		女	36	285	414	619	905	981	**1,574**	1,452	0	6,266
	主婦	計	0	25	100	217	**371**	273	132	48	0	1,166
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	25	100	217	**371**	273	132	48	0	1,166
	失業者	計	4	133	191	304	**386**	165	33	4	0	1,220
		男	2	97	138	257	**321**	142	27	4	0	988
		女	2	36	53	47	**65**	23	6	0	0	232
	年金・雇用保険等生活者	計	3	90	161	272	348	883	**2,163**	2,154	0	6,074
		男	3	47	80	131	138	327	798	**810**	0	2,334
		女	0	43	81	141	210	556	**1,365**	1,344	0	3,740
	その他	計	62	484	520	639	**758**	451	232	169	0	3,315
		男	28	303	340	425	**499**	322	161	109	0	2,187
		女	34	181	180	214	**259**	129	71	60	0	1,128
不詳		計	2	62	66	78	**107**	57	32	15	48	467
		男	1	37	53	64	**80**	46	24	11	41	357
		女	1	25	13	14	**27**	11	8	4	7	110

※　無職者のうち、「その他」は、「主夫」、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

（8） 年齢階級別、原因・動機別の状況

原因・動機別の自殺者数の状況を見ると、「健康問題」が最も多く、次いで「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」、「その他」、「交際問題」、「学校問題」の順となっている。

「健康問題」「家庭問題」では男女ともに「50 歳代」が最も多くなっている。「経済・生活問題」では男性が「50 歳代」女性が「20 歳代」が最も多く、「勤務問題」では男性が「40 歳代」女性が「20 歳代」が最も多くなっている。このほか、「交際問題」では男女とも「20 歳代」が最も多く、「学校問題」では男性が「20 歳代」女性が「19 歳以下」が最も多くなっている。

表３－３

【神奈川県】 年齢階級別、原因・動機別自殺者数（令和4年）

原因・動機別 ＼ 年齢階級別		～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	不詳	合計
合計	計	55	249	183	334	**389**	208	190	137	0	1,745
	男	35	136	121	242	**254**	135	117	85	0	1,125
	女	20	113	62	92	**135**	73	73	52	0	620
家庭問題	計	10	29	39	55	**79**	31	41	28	0	312
	男	7	13	17	36	**51**	18	22	21	0	185
	女	3	16	22	19	**28**	13	19	7	0	127
健康問題	計	11	78	57	114	**151**	107	117	93	0	728
	男	4	27	32	62	**76**	56	68	52	0	377
	女	7	51	25	52	**75**	51	49	41	0	351
経済・生活問題	計	4	33	29	72	**75**	42	15	4	0	274
	男	3	24	26	64	**67**	38	13	4	0	239
	女	1	**9**	3	8	8	4	2	0	0	35
勤務問題	計	0	42	35	**63**	55	16	2	1	0	214
	男	0	26	33	**56**	43	15	2	1	0	176
	女	0	**16**	2	7	12	1	0	0	0	38
交際問題	計	3	**15**	9	9	3	0	0	1	0	40
	男	2	**9**	5	8	1	0	0	1	0	26
	女	1	**6**	4	1	2	0	0	0	0	14
学校問題	計	**18**	17	0	0	0	0	0	0	0	35
	男	12	**13**	0	0	0	0	0	0	0	25
	女	**6**	4	0	0	0	0	0	0	0	10
その他	計	9	**35**	14	21	26	12	15	10	0	142
	男	7	**24**	8	16	16	8	12	6	0	97
	女	2	**11**	6	5	10	4	3	4	0	45

※「原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき４つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

全国の状況としては、多い順から「健康問題」、「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」、「その他」、「交際問題」、「学校問題」 となっている。神奈川県と全国は総じて同じような傾向である。

表３－４

【全国】 年齢階級別、原因･動機別自殺者数（令和4年）

原因･動機別 ＼ 年齢階級別		～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	不詳	合計
合計	計	1,006	3,089	3,329	5,007	**5,512**	3,564	3,767	3,078	3	28,355
	男	592	2,020	2,291	3,551	**3,827**	2,406	2,345	1,886	2	18,920
	女	414	1,069	1,038	1,456	**1,685**	1,158	1,422	1,192	1	9,435
家庭問題	計	166	351	601	906	**976**	586	604	585	0	4,775
	男	98	221	363	555	**593**	364	334	357	0	2,885
	女	68	130	238	351	**383**	222	270	228	0	1,890
健康問題	計	222	947	1,150	1,838	2,196	1,828	**2,491**	2,102	0	12,774
	男	89	475	627	1,059	1,249	1,044	**1,486**	1,272	0	7,301
	女	133	472	523	779	947	784	**1,005**	830	0	5,473
経済･生活問題	計	25	499	673	1,049	**1,232**	705	380	133	1	4,697
	男	19	428	601	929	**1,091**	640	319	99	1	4,127
	女	6	71	72	120	**141**	65	61	34	0	570
勤務問題	計	45	517	539	**815**	744	226	67	15	0	2,968
	男	37	398	460	**709**	651	208	60	15	0	2,538
	女	8	**119**	79	106	93	18	7	0	0	430
交際問題	計	80	**315**	177	147	82	16	7	4	0	828
	男	46	**163**	99	99	57	13	5	3	0	485
	女	34	**152**	78	48	25	3	2	1	0	343
学校問題	計	**354**	219	4	2	0	0	0	0	0	579
	男	**224**	163	3	2	0	0	0	0	0	392
	女	**130**	56	1	0	0	0	0	0	0	187
その他	計	114	241	185	250	**282**	203	218	239	2	1,734
	男	79	172	138	**198**	186	137	141	140	1	1,192
	女	35	69	47	52	96	66	77	**99**	1	542

※「原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき４つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

（9）職業別、原因・動機別の状況

職業別に最も多い原因・動機別の状況を見ると、「有職者」は「健康問題」、「学生・生徒等」は「学校問題」、「無職者」は「健康問題」となっている。

さらに男女別で見ると、「有職者」では男性は「勤務問題」、女性は「健康問題」が最も多い。

加えて「学生・生徒等」では男女ともに「学校問題」が最も多くなっている。「無職者」では男女ともに「健康問題」が最も多くなっている。

表３－５

【神奈川県】 職業別、原因・動機別自殺者数（令和４年）

職業別／原因・動機別		有職者	無職						不詳	合計
			学生・生徒等	無職者	主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他		
合計	計	752	87	858	136	124	369	229	48	1,745
	男	579	64	448	0	90	239	119	34	1,125
	女	173	23	410	136	34	130	110	14	620
家庭問題	計	136	10	158	41	13	65	39	8	312
	男	101	8	70	0	7	42	21	6	185
	女	35	2	88	41	6	23	18	2	127
健康問題	計	203	17	492	84	43	249	116	16	728
	男	125	10	233	0	27	158	48	9	377
	女	78	7	259	84	16	91	68	7	351
経済・生活問題	計	143	7	111	2	47	28	34	13	274
	男	135	4	88	0	38	21	29	12	239
	女	8	3	23	2	9	7	5	1	35
勤務問題	計	197	0	16	0	13	1	2	1	214
	男	160	0	15	0	13	1	1	1	176
	女	37	0	1	0	0	0	1	0	38
交際問題	計	26	3	9	0	3	2	4	2	40
	男	19	3	3	0	1	1	1	1	26
	女	7	0	6	0	2	1	3	1	14
学校問題	計	0	34	1	0	0	0	1	0	35
	男	0	25	0	0	0	0	0	0	25
	女	0	9	1	0	0	0	1	0	10
その他	計	47	16	71	9	5	24	33	8	142
	男	39	14	39	0	4	16	19	5	97
	女	8	2	32	9	1	8	14	3	45

※「原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき４つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

※　無職者のうち、「その他」は、「主夫」、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

全国の状況は本県とほぼ同様であるが、「有職者」の男性では、本県は「勤務問題」が最も多いのに対し、全国は「健康問題」が最も多くなっている。

表３－６

【全国】 職業別、原因・動機別自殺者数（令和４年）

職業別 / 原因・動機別		有職者	無職						不詳	合計
			学生・生徒等	無職者	主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他		
合計	計	11,592	1,313	15,100	1,563	1,874	7,658	4,005	350	28,355
	男	9,158	827	8,689	0	1,510	4,609	2,570	246	18,920
	女	2,434	486	6,411	1,563	364	3,049	1,435	104	9,435
家庭問題	計	2,006	171	2,544	438	224	1,225	657	54	4,775
	男	1,486	109	1,252	0	167	692	393	38	2,885
	女	520	62	1,292	438	57	533	264	16	1,890
健康問題	計	3,381	304	8,986	1,010	544	5,288	2,144	103	12,774
	男	2,337	149	4,756	0	387	3,131	1,238	59	7,301
	女	1,044	155	4,230	1,010	157	2,157	906	44	5,473
経済・生活問題	計	2,441	61	2,072	46	775	550	701	123	4,697
	男	2,247	44	1,734	0	703	425	606	102	4,127
	女	194	17	338	46	72	125	95	21	570
勤務問題	計	2,672	8	282	3	181	30	68	6	2,968
	男	2,296	6	231	0	148	25	58	5	2,538
	女	376	2	51	3	33	5	10	1	430
交際問題	計	515	78	216	7	64	52	93	19	828
	男	325	53	97	0	36	20	41	10	485
	女	190	25	119	7	28	32	52	9	343
学校問題	計	4	550	25	0	0	0	25	0	579
	男	4	368	20	0	0	0	20	0	392
	女	0	182	5	0	0	0	5	0	187
その他	計	573	141	975	59	86	513	317	45	1,734
	男	463	98	599	0	69	316	214	32	1,192
	女	110	43	376	59	17	197	103	13	542

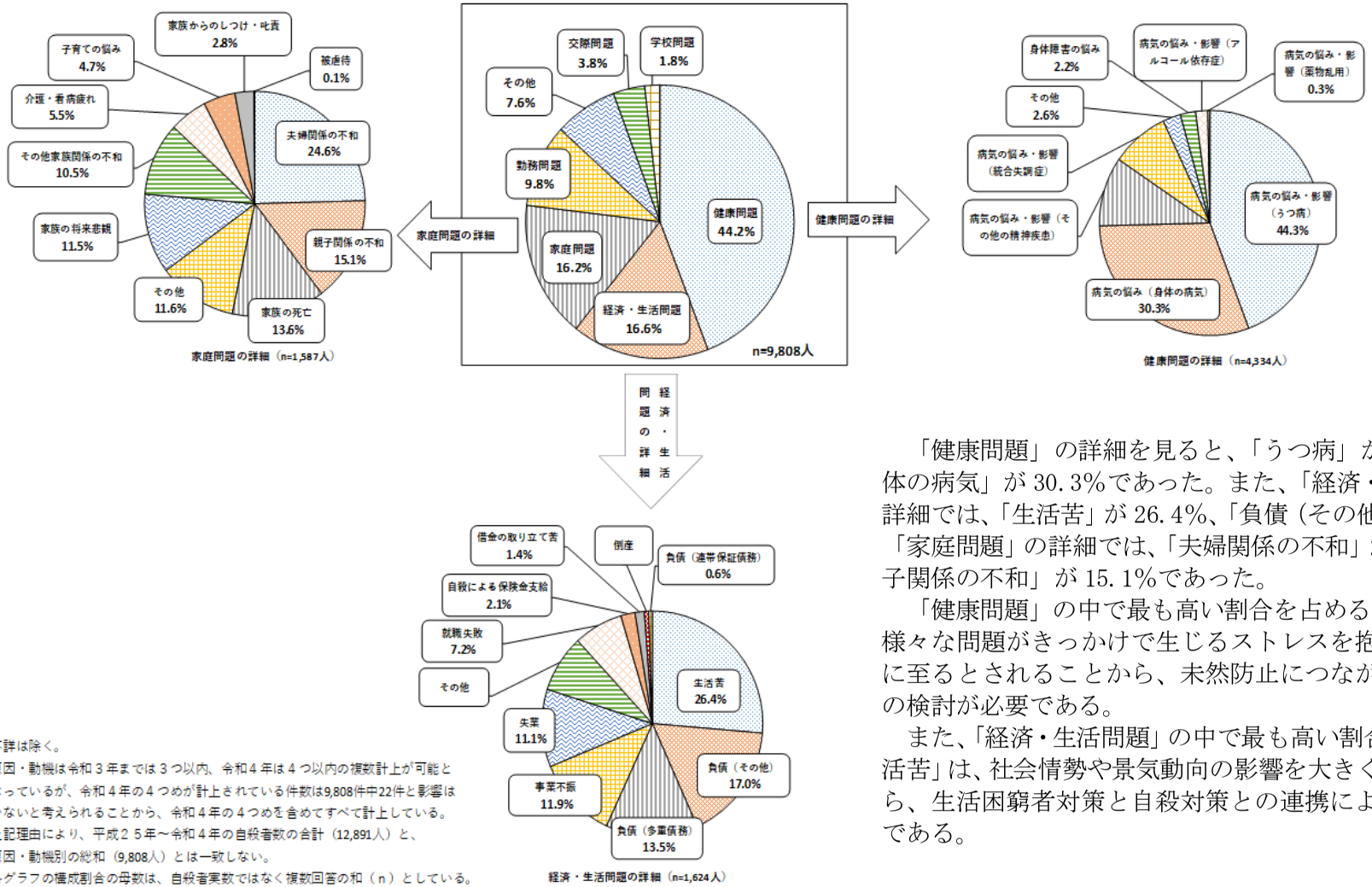
※「原因・動機」は、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき４つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

※　無職者のうち、「その他」は、「主夫」、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

（10） 原因･動機別内訳

自殺の多くは多様かつ複合的な原因や背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。原因・動機別の自殺者数の状況については、最大４つまで計上されたものが公表されているが、過去 10 年間（平成 25～令和４年）に神奈川県内で発見された自殺者 12,891 人のうち、原因・動機が特定できた延べ件数 9,808 件の内訳を分析したところ、「健康問題」が 44.2%を占め、次いで「経済・生活問題」が 16.6%、「家庭問題」が 16.2%であった。

図３－13 【神奈川県】原因・動機別自殺者数（直近 10 ヵ年（平成 25 年～令和４年）集計）



※不詳は除く。
※原因・動機は令和３年までは３つ以内、令和４年は４つ以内の複数計上が可能となっているが、令和４年の４つめが計上されている件数は9,808件中22件と影響は少ないと考えられることから、令和４年の４つめを含めてすべて計上している。
※上記理由により、平成２５年～令和４年の自殺者数の合計（12,891人）と、原因・動機別の総和（9,808人）とは一致しない。
※各グラフの構成割合の母数は、自殺者実数ではなく複数回答の和（ｎ）としている。

「健康問題」の詳細を見ると、「うつ病」が 44.3%、「身体の病気」が 30.3%であった。また、「経済・生活問題」の詳細では、「生活苦」が 26.4%、「負債（その他）」が 17.0%、「家庭問題」の詳細では、「夫婦関係の不和」が 24.6%、「親子関係の不和」が 15.1%であった。

「健康問題」の中で最も高い割合を占める「うつ病」は、様々な問題がきっかけで生じるストレスを抱えた末に発症に至るとされることから、未然防止につながる観点で取組の検討が必要である。

また、「経済・生活問題」の中で最も高い割合を占める「生活苦」は、社会情勢や景気動向の影響を大きく受けることから、生活困窮者対策と自殺対策との連携による取組も重要である。

（11） 年齢階級別、自殺未遂歴の状況

自殺未遂歴の年齢階級別の状況を見ると、男女別の割合では、すべての年齢階級で自殺未遂歴「あり」は女性が多くなっている。また、女性の中では前年度は「19 歳以下」が 63.2％であったが、令和 4 年度は「20 歳代」が最も多く 40.6％、次いで「19 歳以下」、「50 歳代」の順で 30％を超えている。

男性は「30 歳代」が最も多く、次いで「20 歳代」、「40 歳代」となっている。

総数の状況を比べても、神奈川県と全国の状況は同じ傾向である。

図３－14

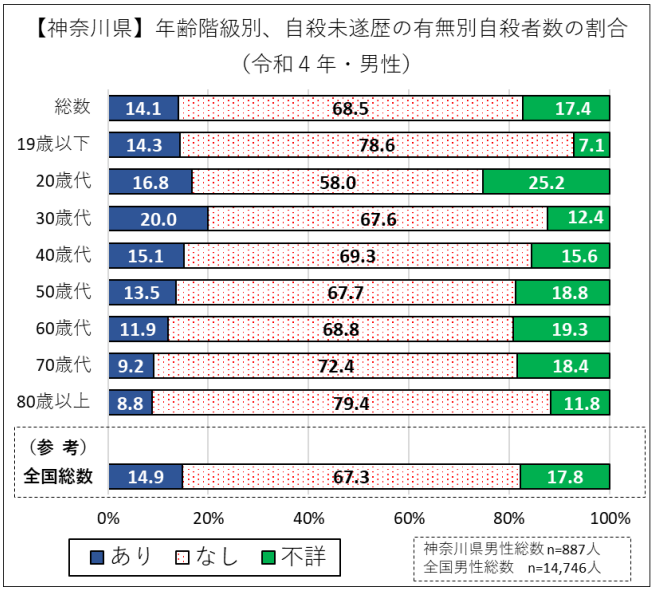
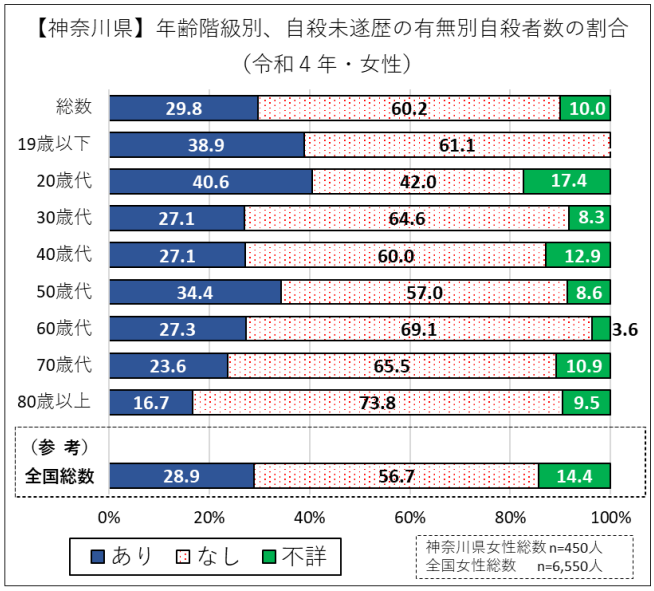


図３－15



※　各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

（12） 同居人の状況

同居人の状況を年齢階級別で見ると、男女ともにほぼ全ての年齢階級において、同居人「あり」が多い。

総数の状況を全国と比べてみると、本県においては、男性は同居人「なし」が、女性は同居人「あり」の割合が若干多くなっている。

図３－16

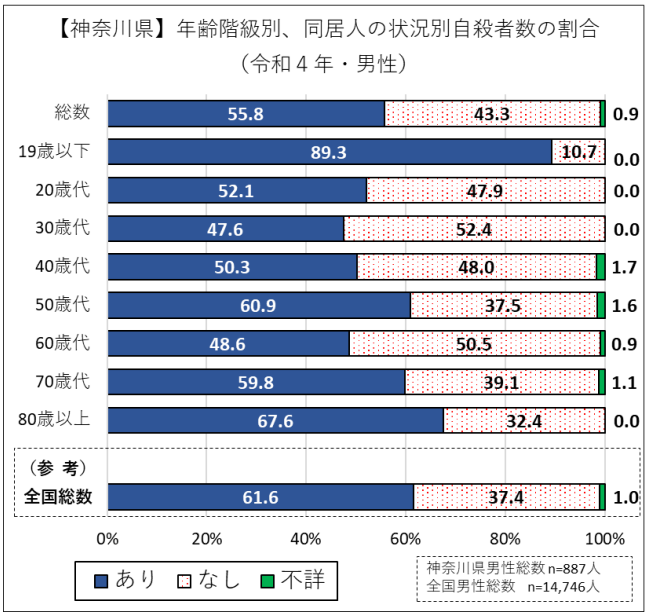
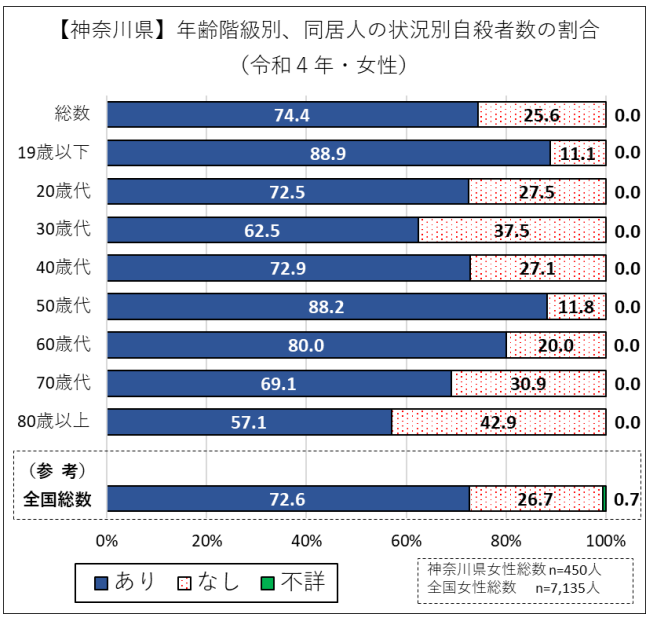


図３－17



※　各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。